

調査員の調査結果に関する資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	新編 新しい国語	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての単元の始まりに、「ことばの力」という項目があり、学習のポイントを分かりやすく明示している。巻末に全教材分の「ことばの力」を一覧表で掲載している。2年生以上は、前学年と比較できるように、前学年の「ことばの力」を掲載している。 • 「見とおす」⇒「取り組む」⇒「ふりかえる」という学習の流れが確立されている。 • 学習活動についての具体的で丁寧な説明が多い。 • 低学年では、リズムカルな言葉、手拍子、声に出す等、全身で言葉を出すことを楽しむ内容が豊富である。幼児教育とのつながりを意識した教材の構成・配列である。 • 2～6年生では、様々な分野で活躍している人が書いた「未来を生きる君へ」という教材がある。将来の自分の姿や次の学年へのつながりを意識した教材である。 • 言語活動や体験学習も一定数確保されている。 • 児童の興味・関心を引く大きな写真を掲載し、イラストや図解を取り入れて視覚的にも理解しやすいような工夫がされている。学年に応じてフォントの大きさを工夫している。簡単な動作や記号で表現する等、特別支援教育の知見もある。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> • 「国語ノートの作り方」で型を示し、自らノートをまとめたり学習したりする工夫が見られた。二次元コードで単元の導入の動画や「話すこと・聞くこと」のモデルなど、多彩なコンテンツを見ることができる。 • 物語や説明文、話す・聞くなどの単元における図表や写真の分量・配置は適切であるが、3年生以降では紙面の広さに対する挿絵の大きさの割合が少ない。 • 1年生の学習において、語のまとまりを捉えさせるために、文節ごとに分かち書きを用い、読みやすい位置で改行している。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> • 特殊音節の動画、漢字の練習問題等のデジタルコンテンツ（「情報のとびら」等）が充実している。 • 文字の書き方、姿勢等、見るだけで児童が理解できる内容が多い。そのことは、個別学習（個に応じた学習活動）に適しているし、家庭学習やオンライン学習にも対応できる。さらに、教師の負担軽減にもつながる。 • 情報教育の学習内容が、「情報に興味・関心をもつ⇒確認する⇒整理する⇒関連させる⇒活用する」という発達段階に応じた内容となっている。

教科・種目	教科書名	発行者
国語	ひろがる言葉 小学国語	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の教材のはじめに「学びの扉」があり、どのようなことを学習するのかめあてが確認できる一文が載っている。教材文の最後に見通しをもてる「学習のてびき」が載っていて、学習のめあてと振り返りを照応させ、学習の大きな流れが掴め、学習を進める上でのガイドとなっている。 ・「話すこと・聞くこと」の教材が特に児童の身の回りにある課題を取り上げており、児童たちにとって取り組む必要性を感じやすい。そこでの言語活動は日常の様々な場面で生かせられると考える。 ・課題を踏まえ <ul style="list-style-type: none"> ① 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けることができる言語活動 ② 言語や言語活動に関する意識を育て、基礎的・基本的能力を習得する言語活動 ③ 自ら課題を捉え、追究し、日常の言語生活に活用できる言語活動 ・本市の「めざす子供像」の「豊かな心」「確かな学力」「よりよい社会の形成者になるための力」を育むに適した教材がある。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンク（二次元コード）を用いて、作者・筆者の情報や、記念館や出身地のホームページ、NHK for school の動画資料など、学習時に参照できる資料をウェブサイトで見られるようにしている。 ・紙面でも、デジタル機器で表示した場合にも視認性が高く読みやすいオリジナルフォントを採用。色調のバランスだけではなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりしている。 ・児童の身体の発達状況を考慮して、1冊当たりの重量が軽い上下2分冊の教科書にしている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の問題を自らの課題と考えられる児童を育むことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫している。 ・3年生以降は、目次にSDGsの17の目標との関連を示している。 ・低学年ではしりとりや回文などの言葉遊びや昔話など、中学年では俳句や短歌、故事成語や慣用句など、高学年では古典なども取り扱っている。

教科・種目	教科書名	発行者
国語	国語	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を組み合わせる言葉の力を身につけるように工夫がされている。また、各単元・教材のねらいを明確に設定しており、系統的に学習できるように工夫されている。 ・各単元の冒頭に「問いをもとう」「目標」が設定されていて、自ら学ぼうとする姿勢を育む工夫がされている。 ・各学年の児童の学習意欲を喚起させる身近な題材や興味を引く内容になっている。 ・6年生では、6年間の国語学習で身につけた力を確かめ、どんな場面で力をいかすのかを考える「中学校へつなげよう」という単元が用意されている。 ・3領域の単元末や「言葉」の教材の末尾に「いかそう」という項目が設定されている。 ・「本の世界を広げよう」では、他教科の学習に活用できる本が紹介されている。 ・カリキュラムマネジメントの観点から、他教科との関連が図れるように工夫されている。 ・つきたい力（指導事項）と言語活動例が各単元の冒頭に提示されている。 ・言葉への自覚を促すために各教材に「問いをもとう」「目標」が設定されており、巻頭の「国語の学びを見わたそう」と巻末の「言葉の宝箱」「図を使って考えよう」に関連付けができるようにされている。また、エラーモデルから学ぶ「言葉について考えよう」が設定されている。 ・児童の言語環境と発達段階に応じた教材が設定されている。 ・表現、表記は適切である。
構成配列分量 補充発展	<ul style="list-style-type: none"> ・「これまでの学習」の記載があり、既習事項と関連させることができる。 ・指導事項の偏り、各領域の分量も偏りなく、「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」が構成配列されている。 ・話すこと・聞くことの領域において、ペアやグループでの活動ができる単元が、各学年5単元以上ある。 ・「本は友達」や巻末付録で、並行読書や同じ作者の作品（アーノルド・ローベルや新見南吉など）に触れることができる。 ・動画やワークシートだけでなく、難語句や児童に親しみのない言葉の説明や写真の提示など、デジタル教材を活用できる。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の特性による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も、絵や写真がふんだんに使われている。 ・どの学年も、児童の興味を引く資料が使われている。 ・ユニバーサルデザインの観点から、専門家の校閲を受けている。

教科・種目	教科書名	発行者
書写	新編 新しい書写	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 表紙の見開きで書写への動機づけ、興味づけがされている。「おかしな〇〇」(2年 おかしなかんばん 3年 おかしな書きぞめ 4年 おかしな案内 5年 おかしなバースデーカード 6年 おかしなプログラム) 「おかしな〇〇」で問題提起されたことが、それぞれの学習における「書写のかぎ」に対応している。 「書写のかぎ」では学習で大事なポイントがまとめられている。巻末で一覧できる。 始筆や運筆を☆や○などのマークで示している。(1年P8) 結びの形を区別できるようにイラストで示されている。[例] よこながのむすび=魚・たてながのむすび=おむすび(1年P16) 同じ内容のものが二通りの違った書き方で提示されており、児童が比較することができる。(1年P41 6年P22 など) 国語の教科書で採用されている教材文が使われている。 書き始めの部屋に番号が振られていて、国語で行うひらがなの学習と同じような指導ができる。(1年P9) 学習の中で話し合う活動が設定されており、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。 他教科の学習に関連する多様な書く活動がどの学年でも設定されている。(3年 はがき 4年 手紙 5年 カードや寄せ書き 6年 書写展覧会)
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 書写の学び方(見つけよう→確かめよう→生かそう→ふり返ろう→生活に広げよう)が提示されていて、学習に見通しがもてる。 各学年の巻末に「書写のかぎ」があり、これまで学習してきた内容がまとめられている。 「学びを生かそう」「生活にひろげよう」と表記されていて発展的な学習に結び付けられる。 マーク(虫眼鏡、鉛筆、☆など)が、問題提起やめあてを示している。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の持ち方、手の置き方が実物大で右利き、左利きの両方がある(1年P4、5) 運筆のページにも、鉛筆の持ち方や紙の抑え方の写真があり右利き左利きの両方が確認できる。 3年生以上の書初めでは長紙の手本がある。 全学年に平仮名、カタカナ、ローマ字表がある。 表紙の見開きに色分けされたインデックスがあり、該当ページが各色で配色されている。 二次元コードがついており、動画で確認しながら学習ができる。

教科・種目	教科書名	発行者
書写	小学 書写	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 最初のページに該当学年での学習を活かすテーマが紹介されている。 (1年 みつけてみよう・かいてみよう 2年 もっともっと、書きたいね!書いて、つたえたいね! 3年 なぜ毛筆を学習するの? 4年 知りたいな!手書き文字のよさ 5年 書いてつたえよう 6年 世界の「書く」日本の「書く」) 正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方の学習では「あいことば」を使って、はしの持ち方と鉛筆の持ち方をつなげて示している。(1年P4~7) 3年生では毛筆を学習する意義を漫画で伝えている。 書き始めの部屋に番号が振られていて、国語で行うひらがなの学習と同じような指導ができる。(1年P11~13) 基本の筆づかいは動きのあるイラストで表したり、毛筆では朱墨を利用したりして穂先の動きがわかるように工夫されている。筆圧と線の太さの関係は写真や音の表記を使っている。(3年P11) 学習するページに「めあて」と学習内容が明確に書かれている。 「学習の始めと終わりに書こう」があり、「ためし書き」と「まとめ書き」を書き込むことで、授業前後の字を比較することができる。(3年P15 4年P16 5年P13 6年P10) 児童が相互評価し合う場が設けられており、評価の観点も示されている。(6年P28)
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の進め方」のページがあり、「つかむ・考える→確かめる→ふり返る→生かす・広げる」と、見通しをもって学習を進めることができる。 パソコンと手書きのそれぞれの良さにふれることができる。(5年P32, 33) 各学年の最後に「学習のまとめ」があり、既習してきたことから「自分のめあて」を決めて学習に取り組めるようになっている。(3年P43 4年P43 5年P39 6年P35)
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> 「レッツトライ」として全学年で他教科と関連した活動が設定されている。また、生活科・国語科・図工科など関連教科が示されている。 ユニバーサルデザインに配慮されている。 文字の組み立て方(三つの部分・上下・左右)を色で区別している。(6年P13 4年P24) 二次元コードがついており、動画で確認しながら学習ができる。 1年生の水書シートには、なぞり書きができる線がある。

教科・種目	教科書名	発行者
書写	書写	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・書写体操があり興味をひくことができる。 ・硬筆（1年）、毛筆（3年）のスタートに姿勢・準備の仕方・持ち方などが詳しく説明されている。そら書きを行う指導がある。 ・基本の点画の書き方を全学年にわたり、ネコのイラストを使い「とん」「びたっ」「すー」「ぴょん」とリズムよく学習できるようになっている。 ・スタートブック（1年） 毛筆スタートブック（3年） SDG sブック（4年）書写ブック（6年）と学年にあわせた〇〇ブックが設定されている。 ・動物の顔の形を使い、字の形のイメージを持たせている。（1年生P19） ・名文、新聞、インタビューメモ、ポスターなど言語活動につながっている。 ・直接書き込める箇所が多く設けられている。 ・まとめ①で1年間で学習したことを振り返り、まとめ②でそれを全て活用するような学習課題が設定されている。 ・毛筆で学習したことが硬筆で確認できるように、直接書き込めるようになっている。 ・国語の教科書に採用されている文章が手本として掲載されている。 ・SDG sに関するテーマが幅広く取り上げられている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方（考えよう→確かめよう→生かそう）が提示されていて、見通しを持たせる工夫がされている。「ふり返ろう」で学びを確認できる。 ・れんらくちょう、リーフレット、パンフレットなど生活に生かしていけるような活動が取り上げられている。 ・各学年のまとめのページが巻末にあり、既習事項を一覧できる。 ・伝統的な文化に関する教材が、全学年で取り上げられている。（書初め 博多おり アイヌ民族 文字の歴史）
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで書かれている。言葉、写真、デジタルコンテンツなどで、右利き左利きそれぞれに対応した資料の提示がされている。 ・用具の準備の写真が大きい。（3年P4、5） ・色分けだけではなく、ネコのキャラクターイラストで高低差を表している。（6年生P6） ・「私の文字」として、著名人の自筆の署名があり、自らの字を振り返ることができる。 ・外国人のモデルが採用されている。（4年P3） ・水書用紙が大きくて、1年生の用紙にはマスが入っている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会	新編 新しい社会	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も、20ページ前後のところに「学習の進め方」があり、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の4項目で学習の進め方を紹介している。ドラえもののマークを目印にして、活用するポイントを示している。 ・単元のはじめの「つかむ」で学習問題を作り、次の「調べる」では学習問題に沿った問いがあり、「まとめる」では学習問題に立ち返るように記述がある。 ・各学年最後のページに発達段階に応じた「ふりかえり方」や「学び方」を示している。 ・新しい社会6政治・国際編では、「中学校に向けて」のページがあり、これまで学習したことが、どのように中学校の学習に結びついていくのかが示されている。 ・「教科かんれんマーク」があるところは、他教科との関わりがあることを示している。 ・イラストと吹き出しで、どのように話すとよいか見本が示されている。 ・ドラえもののマークで、注目するところやどのように考えればよいかを示している。 ・「いかす」の項目で、体験的な学習を促している。 ・「ことば」のコーナーでは、そのページに出てくる大事な言葉について、辞書的な説明ではなく、本文に合った内容で記述されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の4～5ページは、前年度の学習の振り返りと今年度の学習の見通しを持つ内容になっている。 ・イラストや吹き出しで、グループで話し合う様子を表していたり、「まなびのポイント」で、様々な形態での学習活動が示されたりしている。 ・各ページで問いがあり、問いについて調べる資料や調べる時のポイントを示している。 ・二次元コードがあり、児童が自分で映像を視聴することができる。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページが、ほとんど同じようなレイアウトで作られている。 ・児童が自分の生活経験を想起できる写真が掲載されている。特に各単元の始まりのページでは、児童にとって身近なものの写真を掲載している。 ・グラフ、地図については色調や色の組み合わせ等、ユニバーサルデザインの観点に配慮がなされている。 ・新しい社会6歴史編82ページで、「百姓や町人とは別に、身分上厳しく差別されてきた人々」と記述がある。また、83ページでは、「厳しく差別されてきた人々」を取り上げて説明している。 ・新しい社会6歴史編121ページで、「中国やロシアに～(中略)～勇気づけました。一方で、日本の人々の間では、朝鮮や中国の人々を下に見る態度が広がっていきました。」との記述がある。 ・地域教材…6年 ノルマントン号事件と条約改正、エルトゥールル号 5年 濱口梧陵 4年 「地震からくらしを守る」和歌山市の取り組み ・新しい社会5下の巻末では、SDGsについての資料がある。

教科・種目	教科書名	発行者
社会	小学社会	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・目次の次に、社会科学集の進め方として「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の4項目で学習の進め方を紹介している。 ・学習が「問い」から始まり、本文の記述や資料を読み取る中で、児童自身が本時の課題を解決できるとともに、次の「問い」へつながるようになっていく。 ・「学びのてびき」として「集める」「読み取る」「表す」の3項目があり、児童の発達に応じて学習を深めるための手立てが示されている。 ・巻末に、小学校で学習したことがこの先地理・歴史・公民の3領域に分かれて学習を深めていくことや、中学生になってからどのように学習していくのかが示されている。 ・巻頭に、他の教科との関わりについて図を用いて示されている。 ・学習の終わりには、「まとめる」という項目があり、補充問題を多く設けたり、キーワードを使って考えたことを短文で表現させたりしている。 ・見方・考え方として「空間」「時間」「関係」の3つの視点でのアドバイスコナーがある。 ・キャラクターの言葉が児童の体験に即した内容になっている。また、学びの手引きに児童の体験を促す表記がある。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に「前の学年をふりかえろう」という項目があり、つながりが重視されている。 ・選択教材が多く設定され、地域の実態に応じた学習ができるように工夫されている。 ・「まとめる」項目では、グループで話し合ったり、調べたことをまとめたりする活動の例が示されている。 ・ワークシートを例示し、家庭学習を促す工夫がされている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表や写真を精選して、学習で児童が活用しやすいように配慮されている。 ・活字が太く見やすい工夫がされている。(ユニバーサルデザイン) ・小学社会6の146ページで、「公家・僧・神官、百姓と町人とは別の身分とされた人々など」との記述がある。 ・小学社会6の194ページで、「欧米諸国の～(中略)～勇気づけられた人々もいました。一方、日本人の間には、朝鮮や中国の人々を下にみる意識がしだいに広がっていきました。」との記述がある。 ・地域教材 5年 紀の川市の直売所、熊野川の氾濫、南方熊楠のコラム 6年 エルトゥールル号、ノルマントン号、陸奥宗光

教科・種目	教科書名	発行者
社会	小学社会	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 資料や図版、写真などをもとにさまざまな角度から1時間の学習が成り立つように工夫されている。 社会科の学習の進め方として、学びのスパイラルを意識できるようにしている。 「学び方・調べ方コーナー」では、各学年に合った観察や調査の仕方や資料の読み取り方、表現の仕方等が説明され、学習技能の確実な習得を目指している。 小学校と中学校の社会科を接続するために、教科書の巻末でまとめている。 他教科との関連づけとなるような学習内容や発展的な学習内容に応じた教材を例示し、小単元で身に付けた知識や技能を活用した追求活動が個に応じてできるようになっている。 小単元の終末に話し合いを設け、自分の考えをシートに書かせたり、話し合いの題材となる提案等を例示したりする等、言語活動の充実を図っている。 「見方・考え方」の説明を巻頭に載せ、どの力を活用すればよいのかを明記している。 キャラクターの言葉が児童達の思考を促す内容になっている。 単元の終わりには、SDGsとのつながりを示し、生活とのつながりが意識できる。 難しい言葉にはルビがふられたり、重要語句は「キーワード」で取り上げられたりして、説明が書かれている。 字の大きさを小さくしている分、絵やグラフなどが大きくなっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年に、地図帳の使い方のページがある。 調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追求し、気付くとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程を分かりやすく配列している。 学習対象についての情報や資料、追求の過程を見開きにまとめ、コンパクトに配分している。 主体的になるように学習スタイルや児童のノートのようなものなどが書かれている。 索引もつけられ、児童が自らわからない言葉を調べられるようになっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる写真や想像図、挿絵などが見開きを使って大きく提示されているため、その時間に何を中心にして考えていくのかを児童達が理解して、さまざまな発見をしながら学習を進めていくことができる。 レイアウトに工夫が見られ、紙面を無駄なく活用している。グラフ、地図については、図表・写真・色調や色の組み合わせ等、ユニバーサルデザインの観点に配慮がなされている。 二次元コードを資料ごとに配置し、児童や教師がすぐに調べられるようにしている。 小学社会6の143ページで、「百姓や町人からも差別された人々」との記述がある。 小学社会6の187ページで、「アジアの国の日本が、大国のロシアに勝利したことは、欧米諸国の進出と支配に苦しむアジア諸国の人々に、独立への自覚と希望をあたえました。」との記述がある。 地域教材 4年 浜口悟陵、和歌山県の取り組み、南方熊楠、華岡青洲、川端龍子 5年 有田市のみかん作り 6年 エルトゥールル号、ノルマントン号、陸奥宗光

教科・種目	教科書名	発行者
地図	新編 新しい地図帳	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～3ページの見開きページで世界地図が紹介され、主要な国の民族衣装が分かる。 ・ 1～3ページの裏面の4～6ページは日本地図が紹介され、それぞれの都道府県の特徴的な事象がイラストで紹介されている。 ・ 7～14ページでは、地図の成り立ちから決まり、使い方についてキャラクターたちが児童に主体的に学んでもらおうと誘っている。 ・ 15～52ページでは、まず日本周辺の国と東西南北端を示し、そこから地方・各都道府県へとクローズアップされていく。例えば、45ページでは、東京都の地図に加え、23区で分けられた地図も掲載し、人口の違いについて書かれている。また、昼と夜による人口の違いについても示されており、東京で暮らす人や働く人の数の様子に気づくことができるように工夫されている。 ・ 33～34ページでは、特徴的な場所の写真が使われており、児童が可視化できるようになっている。修学旅行の観光地図としても使うことができる。 ・ 53～66ページでは、地球儀の説明から入り、世界各国の説明をしている。世界の料理について写真付きで説明しているのが特徴的である。 ・ 67ページ以降は日本の自然・産業・交通・貿易・歴史・伝統文化・統計が示されており、児童が学習上必要な情報を得られやすいようにしている。 ・ 97～99ページでは、日本の自然災害についてクローズアップされている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」では、全70問の問題を解きながら地図への関心を深めることができるように工夫されている。また、到達度をはかれるように二次元コードから「がんばりシート」にアクセスできる。また、各都道府県の紹介の中にある二次元コードを読み取ると活用できるコンテンツには、地形が把握しやすいようにドローンによる動画が収録されている。 ・ 縮尺と実際の距離が分かるよう物差しで分かりやすいように表示されている。 ・ 3ページにわたる見開きで日本に起こった自然災害について示されており、日本は自然災害が多い国であるということを捉えやすい。また、写真によってどのような災害があるのかが分かり、児童が防災教育に興味・関心をもつことができるようになっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙は、地球儀をイメージした円形の上に日本や世界の写真がちりばめられている。 ・ 本書内でも多様な写真が掲載されていて、児童がその場所の様子をイメージしやすいようにしている。 ・ イラストや写真で都道府県や各国の特徴が紹介されており、児童にとって分かりやすい仕組みとなっている。 ・ 社会科をはじめ、外国語や道徳、家庭科など様々な教科や活動で活用できる地図や要素が掲載されている。

教科・種目	教科書名	発行者
地図	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	帝国書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～3 ページの見開きページで世界地図が紹介され、それぞれの国の特徴が分かる。 ・ 1～3 ページの裏面の 4～6 ページは日本地図が紹介され、それぞれの都道府県の特徴的な事象が分かるようになっている。 ・ 7、8 ページでは、斜め上から見た地図と上から見た地図が紹介されている。この地図の見方についてはカーナビ等で、子供たちもよく目にするものである。 ・ 9～20 ページでは地図の利便性・決まり・使い方について書かれている。 ・ 21～30 ページは日本を地方ごとに紹介し、各県の特徴を 4～6 ページの日本地図よりもさらに詳しく示している。 ・ 31、32 ページでは日本の領土の範囲が紹介されている。東西南北端や日本固有の領土ということで北方領土・竹島・尖閣諸島が示されている。 ・ 33～88 ページでは、日本の各地方・各都道府県をさらに細かく紹介している。一つの地域を見開きの 2 ページで示し、さらにその地方の特徴的な県等をクローズアップする。またその地方の特徴が分かるよう、歴史的な観点や観光、産業等を紹介している。 ・ 81、82 ページは地球儀の見方について紹介している。その後、83～93 ページで世界各国を地域別に紹介しており、アメリカ合衆国のように日本とかかわりの深い国については国単体での紹介もある。 ・ 95 ページ以降は、日本を中心に自然・防災・産業・世界との結びつき・歴史等を紹介し、統計を伴って日本についての必要な情報を得られるようになっている。
構成 配列 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ページのタイトル横に二次元コードが設置されており、地図クイズや動画・音声コンテンツを視聴することができる。また、地図マスターへの道コーナーがあり、子供たちがより深く地図に関わることができるよう導き、地図を発展的に使うようにも誘っている。
補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界が抱えている問題について示されており、持続可能な社会を目指して子供たちが積極的に SDG s に関わろうとすることができるようになっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の背景がリアルに描かれており、土地の高低差や地形の様子をより立体的にとらえることができるように工夫されている。 ・ 3年生から6年生までの各発達段階に配慮し、学年に応じて情報が詳しくなるよう配列されている。また、社会的な見方・考え方を働かせられる地図であり、社会科の単元の内容に応じて観光や産業・防災等、学習要素を押さえた構成となっている。 ・ 外国語活動や外国語科の学習にも対応して、日本と世界の結びつきに理解が深まるようになっている。国語科や音楽科でも活用できる要素が掲載されている。

教科・種目	教科書名	発行者
算数	新編 新しい算数	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・数学化（問題との出会い）の過程を可視化し、自分の考えと他者の考えの比較・検討を大切に不完全な考えを取り上げ、完全なものにするための考察を促す構成になっている。 ・各時の展開において、数学的な見方・考え方を働かせ、既習とつなぐための吹き出しや補助発問などを丁寧に設定し、数学的活動を重視した学習展開を行い、知識や技能の断片的な詰め込みにならないよう、それまでに育った資質・能力を駆使していっそう高めることができるようになっている。 ・巻末オプション教材「新しい算数プラス」では、各単元の練習問題と対応した補充問題をふんだんに用意し、さらに、個別最適化された学びの支援として、難易度別に2種類の問題を用意し、個に応じた選択的に取り扱うことができるようになっている。 ・小学校の算数の学びの広がりやつながりを振り返りながら復習する第6学年の第13単元「算数の学習をしあげよう」では、図、表、式それぞれの価値や活用経験を振り返り、中学校以降の学習に活用できるようにしている。巻末の「算数卒業旅行（中学校体験入学コース）」においては、数学の世界の一部を体験できるようになっている。 ・他教科との関連は、マークで明示されている。体力や自然観察等の教科横断的な話題をテーマとした統計的な問題解決能力を育成するねらいの「算数でよみとこう」も設定されている。 ・巻頭の「学びのとびら」ではノートづくりの例を、「今日の深い学び」ではノートの活用の仕方の例を示し、思考の可視化を重視している。 ・既習を生かして考えることを促進しつつ、考え方は書き示してしまわない吹き出し「同じように考えると」や数学的な見方・考え方の価値の再確認など、学習したことを基に発展的、創造的に考えることを促進する補助発問の「それなら」が、キーワードとして導入されている。 ・「学習のしあげ」では、学校や日常生活との関連を重視した場面設定や活動を取り入れ、学習する意義や学習内容の有用性を実感することができるようになっている。 ・問題解決の過程を振り返り、新たな課題を見出し、解決の計画を立て実行する力を育むページ「それなら次は？」が新設され、「自ら考え、判断し、表現する力・・・人間」に適応している。
構成 配列 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元プロローグ」で既習を振り返り学習課題をつくる活動、問題解決の過程における既習とのつながりへの着目を促す吹き出しや補助発問、後の学習の素地づくりとなる活動があり、学びの系統性や連続性を意識できるようになっている。 ・スパイラルに学習することを重視し、習熟・定着が求められる内容の指導の学期を分ける、同一領域の内容は適切に単元を分けるなど、単元構成、配列を工夫している。
補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・つまずきが多い問題を厳選し、習熟度を維持、向上させることができるように復習ページが設定されている。動画、シミュレーション、練習問題デジタル版などの豊富なデジタルコンテンツが設定されていて、自主学习や自主的な家庭学習に活用することができる。
図表・写真・ 資料・体裁 その他教科・ 種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・1年10を表す<数図ブロックの置き方>が、1列、5年「面積」の学習順は、四角形→三角形、「割合」2本の数直線、6年「順序よく整理して調べよう」の学習順は、並べ方→組み合わせ方など、現在和歌山市で採択されている教科書と図表の表し方や学習の順番が異なる。 ・自社開発のUD教科書体が採用され、文字の視認性を良くし、余白を生かしたデザインである。

教科・種目	教科書名	発行者
算数	新版 たのしい算数	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「算数の学び方」があり、問題解決の流れ、ペアやグループでの学び方、タブレットの使い方、発表のポイントや聞く姿勢などが例示されている。 ・2年生以降は「新しい学習がはじまるよ」「次の学習のために」というページが各単元の初めにある。3年生以降では、身の回りの事象や既習事項、具体物操作などを取り入れた導入ページがある。 ・「じっくりふかくまなびあおう」では、多様な解決方法を比較検討し話し合う活動などを通して問題解決を行い、深い学びが実現できるように配慮されている。 ・2～6年には本時の学習内容が分かるように「学習のめあて」が示されている。 ・解決方法を見せないように、右ページ始まりになっている。 ・2年生から4年生の教科書では、巻末にある「ひらめきアイテムシール」を、「ひらめきアイテム」に貼ることで、同じ見方・考え方に使える学習内容をまとめたり、集めたアイテムを別の問題解決に活かしたりできるようにしている。 ・1年生の分冊は中開きでブロック操作や書き込みがしやすくなっている。 ・2年生からはアンプラグドとビジュアルプログラミングの両方が掲載されている。 ・5、6年生の教科書では、中学校の学習との接続を意図した特設を設置し、数学へと繋がる問題・活動や、数学の内容を紹介している。 ・他教科で活用できるよう、折れ線グラフの学習を学年当初に設定している。 ・「算数お仕事インタビュー」という、キャリア教育につながる内容がある。 ・「はっぴょうしましょう」「はなしあいましょう」といった活動が多く設定されている。話し方の例も1年生から示されている。 ・ノートの例は1年生から示されている。2年生以降は学び方の流れ、ノートの書き方が教科書の初めに示されている。 ・「算数たまてばこ」「ふくろう先生のなるほど算数教室」などで、学んだことを活用したり、日常生活から算数を探る活動を行ったりできるように工夫されている。 ・1年生はこれまでの生活を思い出すページが巻頭にあり、その後も身の回りの物や活動が中心となって問題が構成されている。他学年でも他の問題や身の回りの生活に活かす問題が設定されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・目次では、既習事項との繋がり、今後の学習との繋がりを示している。 ・3年生以降の「倍」を取り扱う内容が独立単元になっている。 ・シミュレーションや練習問題など、様々な種類のデジタルコンテンツがあり、教科書の下部の二次元コードからアクセスできる。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真とイラスト、図表などの配置、分量なども適切である。 ・2年生「わかりやすくせいりしよう」、4年生「気温の変わり方は」などで、身近な資料が取り上げられている。また、導入で問題を見いだす場面を提示し、グラフを用いて問題を解決する必要感を持たせている。 ・登場キャラクターの2人が外国にルーツをもつ児童になっている。また、活動写真の中にも外国にルーツをもつ児童を掲載している。 ・日本の伝統的な遊びが紹介されている。

教科・種目	教科書名	発行者
算数	みんなと学ぶ 小学校 算数	学校図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの題材や、興味・関心に応じた題材を扱い、身のまわりの事象などに還元することができるように配慮されている。 ・全学年「めあて」「まとめ」が明確に書かれている。 ・児童自らが率先して学びに取り組み、自然に知識を身につけ、さらに身についた学習内容を確認できるよう、練習問題が配置されている。 ・単元の冒頭に「はてな発見」のページがある。 ・児童がつまずきやすい内容を扱う際は、段階的に理解し、知識及び技能を身につけられるようにされている。挿絵が分数を意識できるような絵になっている。 ・「算数をつかって」のページでは、SDGsやデジタル・シティズンシップに触れ、教科を越えて思考する内容が設定されている。 ・表現力を育むことができるように配慮されている。 ・学びの中の代表的な見方・考え方を「考え方モンスター」として具現化し、活用できるように配慮されている。 ・導入や各題材において、身のまわりや算数の学習の中で疑問に思うことを取り上げ、それを解決したいと思うように工夫されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しを挿入することで、算数の系統性を意識できるように配慮されている。 ・選択肢が少ない導入から、少しずつ選択肢を増やし数が大きくなっている。 ・連続して扱うことで身につく学習内容と、スパイラルを意識することで身につく内容を選別し、より児童が学びやすいような単元配列になるようにされている。 ・写真でペア・グループ学習を掲載したり、4人で話し合う様子が掲載されていたりと、意図的に対話的な学びが実現できるようになっている。 ・デジタルコンテンツが5種類用意されている。 ・コンテンツ数は1年上34、1年下34、2年上61、2年下49、3年上50、3年下52、4年上46、4年下40、5年上43、5年下46、6年57である。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真とイラストの割合が多く、キーワードが黒色の太字で書かれている。 ・身近な題材が取り上げられている。 ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決や思考に重点をおけるようになっている。 ・6年生の教科書では、別冊で中学校へのかけ橋がある。 ・ジェンダーや人権に対し、男女のイメージが固定化しないようなイラストや写真を使用したり、人種を問わないイラストを使用したりするなど配慮されている。 ・教科書の大きさがA Bサイズと特殊である。 ・ページの途中で項が終わることがある。

教科・種目	教科書名	発行者
算数	小学算数	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・単元に入る前に、「どんな学びがはじまるかな？」という、その後の学びを予想するページがある。 ・「町たんけんの計画」を使って時刻の学習をしている。 ・単分量あたりの学習の導入で「こんでいる」の意味の理解にページを割いている。 ・就学前の経験から算数の学びのきっかけをつくれるよう、写真を使用している。 ・中学校で学習する内容が、「広がる算数」で紹介され、中学校で習う内容は「数学・社会・歴史・パズルへのとびら」にまとめられている。 ・朝顔を育てる活動や、夏休み、冬休みなどの日常場面と算数をつなぐ構成となっている。 ・運動会、お楽しみ会などの行事と関連させた題材を扱い、巻末でもさらに、他教科に関連した題材のものが紹介されている。 ・円の面積の導入では、正方形のピザと円のピザの大きさ比で、児童が興味をもちやすいような工夫がされている。 ・教科書の冒頭で見方・考え方を項目別に説明している。 ・単元の後半の学習で活用する見方・考え方が「つながるミカタ」にまとめられている。 ・教科書のはじめに前学年までの「算数のミカタ」や「算数の考え方」をまとめ、振り返られるようになっている。 ・「つながるミカタ+」では、単元の中心となる見方・考え方を4コマ漫画にしてまとめている。 ・2年生の「長さ、かさ、かたち」の単元において、活動から学習を進めている。 ・単元末では、図鑑を作る活動や数を見つけるといった体験をしながら、日常場面につながるようになっている。 ・割合の学習では、割合を求める式に「基準量」「比かく量」という他社と異なる用語が用いられている。 ・ひし形の面積の公式が「一方の対角線×もう一方の対角線÷2」となっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで活動できるように写真を載せ、学習形態の変化を促している。 ・裏表紙の二次元コードからデジタルコンテンツの「まなびリンク」該当学年一覧にアクセスすることができる。そこでは、動画やフラッシュカード、シミュレーションなどのデジタルコンテンツがある。 ・「まとめアニメーション」では、動画で学習のまとめを確認することができる。 ・全学年合わせて、591の二次元コードが掲載されている。 ・「まなびリンク」で繰り返し練習できるフラッシュカードや動画がある。 ・「まとめアニメーション」では、下学年の内容を振り返ることができ、視覚的に理解できるよう、工夫されている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の仕方を示すために、単元の導入に写真を多く使っている。 ・給食や掃除、学校にあるものや関係のあるものを資料として使っている。 ・コンパスの使い方では、右利き用、左利き用の動画がある。 ・多様性や人権に配慮した構成になっている。 ・全学年でプログラミングの題材がある。 ・「広がる算数」で、食品ロスや再生可能エネルギーに関する題材を取り上げるなど、SDGsへの関心が高められるようになっている。

教科・種目	教科書名	発行者
算数	わくわく 算数 (別冊「わくわくさんすう1 すたあと ぶっく」)	啓林館

項目	観 点 の 内 容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自らの「問いや気づき」から「めあて」を「めばえ」として掲載し、児童から「めあて」を引き出せるように展開され、伝え合う活動を通して「まとめ」が生まれるような学習の進め方になっている。 ・見通しを立てたり、根拠を持って考えを進めたりする活動を適宜例示し、問題解決的な学習を促せるようにしている。 ・スタートカリキュラムのために1年生の分冊(すたあとぶっく)が設けられている。 ・「数学へのとびら」で中学校数学との繋がりを示していたり、中学校数学との繋がりを踏まえ発展的・統合的な事柄を「算数ポケット」などで適宜取り上げて幅広い知識と教養が身に付けられるようになっていたりしている。 ・生活科や国語科(言語能力の育成と言語活動の充実)など、他教科との関連が見られる。 ・児童が考え理解したことを、自らの言葉で説明する場面を適宜設けている。 ・例示したり、マーカを付けて強調したり、学び合いで深めたいポイントを見える化したりして、数学的な見方・考え方を強調して示している。 ・算数で学んだことを日常生活で活用しようとする態度を育む工夫がされている。「学びをいかそう」「見方・考え方をふかめよう」 ・巻末の「さくいん」には、算数用語がまとめられている。 ・「確かな学力」の「自ら問題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」「他者と協働し、対話を通して考えを広げ深める」に、適応している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・習得、活用が困難だと思われる「何倍でしょう」では、基準量の何倍かという見方・考え方を丁寧に育めるように工夫されている。 ・学校外での学習活動においても、ヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるようにデジタルコンテンツを配置している。 ・デジタルコンテンツを配置し、児童がつまずきやすいとされている内容について、確かな理解が図れるように工夫されている。 ・「わくわくぷろぐらみんぐ」でプログラミング的思考を育てられるようにしている。 ・「ふくしゅう」「じゅんび」「たしかめよう」にデジタルコンテンツがあり、解決のヒントを確認できるようにしている。 ・一斉学習の全てに解説動画があり、学びが途絶えることのないよう工夫されている。
図表・写真・ 資料 体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生「たしざん(1)」、「ひきざん(1)」では、実際に数図ブロックを置いて操作ができるような工夫(葉っぱ2枚と岩のイラスト)、2年生の「長さ」では、児童に操作や順序を分かりやすく理解させるための工夫(30cmものさしでの直線のかき方を写真で説明)、6年生の「対称な図形」での模様作りでの工夫が見られる。また、写真とイラストがバランスよく記載されている。 ・10を表す数図ブロックの置き方が、「5・5」の2列となっている。 ・5年「面積」の単元では、三角形から四角形となっている。 ・6年「場合を順序よく整理して」の単元では、「組のつくり方」から「並べ方」となっている。

教科・種目	教科書名	発行者
算数	小学算数	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」「まとめ」がほぼすべてに記載され、めあての近くには、「見方・考え方」が記載されているところもある。 ・全学年、問題解決の過程が分かる「じぶんで みんなで」というページには、ページの端に学習の流れが書かれている。 ・単元のはじめに「単元アプローチ」があり、問いをもつきっかけとなっている。 ・第1分冊がある。就学前の遊びや生活と算数との関係性、連続性を絵本仕立てで示しており、無理なく算数の世界に入れる、また書き込めるところが多い。 ・中学校数学に特に必要と思われる単元に「中学接続マーク」がついている。 ・数学の内容に簡単に触れる「もうすぐ中学生」というページもある。 ・朝顔のイラストや秋みつけ、町たんけん、防災・減災などの題材がある。 ・全学年「レッツプログラミング」でプログラミング的思考を育むことができる。 ・算数ジャンプで探究的な問題のところに他教科と関連のあるものを扱っている。 ・挿絵の児童の発言が、話し合う焦点のヒントになっている。 ・「自分でみんなで」では、学習の流れと、話し合う内容についても書かれている。 ・巻末の「さくいん」には、算数用語がまとめられている。 ・見通しを立てて考えるための着眼点を「見方・考え方」として随所に書いている。 ・2年生以降の巻末に「算数で使いたい見方・考え方カード」が付録でついている。 ・巻末に前学年に学習したことがまとめられている。 ・「つかってみよう」で作業的・体験的な活動ができる。
構成 配列 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・もくじに既習学年と単元名が示されている。 ・「倍の見方」が3年生から単元になっており、割合への抵抗を少なくしている。 ・「次の学習のために」で、新単元での学習内容と関連の深い既習事項が確認できる。 ・ペアや小集団で活動できる題材はあるが、比較的少ない。 ・2年生以降の巻末「算数マイトライ」で、家庭や学校において自分で取り組むページがある。
補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年デジタルコンテンツで予習・復習・採点ができるようになっている。 ・小学校算数から数学の世界へ広げる「マテマランド」がある。 ・単元、題材によって二次元コードの種類が違う。また、ペンで書き込みもできる。 ・二次元コードを読み取ると、教科書の内容を読みあげてくれる。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が少なく、イラストが多い。ワンポイントで写真が使われている。 ・生活に則し、他教科に関連したものが取り上げられている。 ・しおりひもがついている。 ・色覚の特性によらずに情報が読み取れるよう配色が配慮されている。 ・性による服装や役割の固定化がないように配慮されている。男女、国籍、障がい者等色んな面で配慮されている。 ・和算や尺貫法、六角返しなど、日本の伝統文化に関する題材を取り扱っている。 ・5年生以降、さくいんに英語表記がある。 ・全学年プログラミングの題材がある。 ・けがを防ぐポスターをつくるために、けがの記録を調べるというような安全教育に関する問題が取り上げられている。 ・「算数ジャンプ」で、SDGsへの関心が高められるようになっている。

教科・種目	教科書名	発行者
理科	新編 新しい理科	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめがはっきりと記載されており、振り返りのページ、たしかめ、活用と児童の科学概念の習得をしっかりと支えている。 ・「レッツトライ！」を設け、具体的な記載により問題がつかみやすくなっている。また、過程を1本のラインでつなぐことで、今何を学習しているか問題解決の過程を意識しやすくなっている。 ・各学年でのばしたい思考・判断・表現の資質・能力の内容を記載している。 ・巻末に内容の系統性を記載。また、単元に応じて既習の単元と比較する記載がある。 ・発展のページにて中学で学習する内容を記載している。 ・算数科（3年重さ 6年でこなど）との関連が図られている。 ・巻末に「書く・話す」のページがあり、ノートや記録カードの書き方、発表の仕方、話し方が紹介されている。 ・キャラクターの吹き出しに見方・考え方を促すような発言が記載されている。 ・たしかな学力を身に付けるため、単元末において学習のまとめと感想などを合わせており、習得したことの把握（活用も含め）とどのような過程で習得していったかを振り返り、科学概念の定着ができるように記載されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・年間で10時間程度の余裕をもたせた指導計画であり、季節に関わる単元を適当な時期に扱うことができる単元配列である。 ・デジタル教材が多数記載されている。多様な動画コンテンツが記載されており、児童が各グループや各々のペースに合わせて学びを進めることができる。(各学年約200) ・全ての学年に、プログラミングについての記載がある。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての文字にユニバーサルデザイン書体を採用している。 ・写真やイラストに登場する男女比率に偏りがなく、服装も固定的なイメージにとらわれていない。 ・車いすの子のイラストや多国籍の子が登場している。 ・和歌山県に関連する身近な資料として、恐竜の発見の地図、ジオパークの地図が取り上げられている。 ・単元終わりに記載されている「こんなところにも！理科の世界 探検部」には、学習してきたことと関連のある職業人が紹介されており、学習のつながりが意識できるまとめで、キャリア教育を意識した内容となっている。

教科・種目	教科書名	発行者
理科	新版 たのしい理科	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の3つの流れの中に細かく記されている学習過程に沿って学習を進めることで目標が達成できるように工夫されている。 ・問題解決の過程が、「みつけよう」「調べよう」「伝えよう」の大きく3つに分けられている。また巻頭で問題解決の過程が図示されており、学習の際にどのような視点で学習を進めていくかわかりやすくなっている。 ・発達段階に合わせて漢字にルビがあり、言葉も、3・4年は「予想しよう」「考えよう」で、5・6年は「予想」「考察」と、発達段階に合わせて配慮されている。 ・「サイエンスワールド」のコーナーで、中学校の学習事項と結び付けている。 ・他教科との関連に関しては、巻末資料として算数科や国語科（図書館教育）との関連が記されている。 ・「結果から言えることを話し合しましょう」「予想を交流しましょう」など、個人思考だけでなく、交流を基に学習を進めていくように記されている。 ・各単元に、見方・考え方を働かせることにつながる着目点が記されている。 ・写真やイラストが大きく記されているので、児童の興味・関心を引き出しやすい。 ・児童の実態や発達段階に合わせた表記になっている。また、学年のまとめが巻末に一括して記載されている。 ・「理科の玉手箱」のコーナーでは、中学に繋がる内容や科学者のことについて書かれており、「よりよい社会の形成者」を育てる内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・生物分野において飼育、栽培に適した時期を設定しており、その他の領域では主に系統性や他教科との関わりを考慮して配置している。 ・各領域が偏りなく配分されている。 ・個人、ペア、グループで考える場面を、イラストやコメントで紹介している。 ・単元終わりに振り返りのページがある。まとめたページは巻末に記載されている。 ・二次元コードはページ下に整理されており、その横に説明が記載されている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の比較がしやすいように配列されている。 ・6年の教科書に広村堤防、田辺市（津波ハザードマップ）が記載されている。 ・全面的にUDフォントが使用されている。 ・科学技術・キャリア形成やSDGsなどの現代的な諸課題をマーク化してバランスよく配置されている。

教科・種目	教科書名	発行者
理科	みんなと学ぶ 小学校 理科	学校図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程の中でわかりやすい図、写真、キャラクターを入れ、見通しをもって学習が進められるように記載されている。 ・問題解決の過程を繰り返し意識できるようにチェックシート形式で観察の視点が整理されており、学習の手順が詳細に記載されている。 ・児童の発達段階に応じた資質・能力を巻頭で明らかにしている。 ・「もっと知りたい」において、中学で扱う発展的な内容が記載されている。 ・算数科（3年重さ 6年でこ など）との関連がはかられている。 ・巻末に用語の内容を記載している。 ・単元の最初と最後に資質・能力が明示されており、その近くで見方・考え方を詳しく説明している。例えば、6年「月と太陽」では、月と太陽の位置関係を平面的な見方から空間的な見方でとらえられるようになる学習過程が児童の理解に即して示されている。 ・単元のはじめのページにおいて問題を把握しやすい写真と記述になっている。 ・確かな学力を身につけるため、単元末において学習のまとめと感想などを合わせて掲載しており、活用を含めた学習内容の習得と学習過程を明確にしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・単元配列は基礎となるものから学習できるようにするとともに、季節などに配慮しながら単元の配列を構成している。 ・指導事項、分量共に適切に配分されている。 ・問題解決の過程が明らかになっているので個人やグループで自律的に学習を進めやすくなっている。また問題解決の各過程（予想等）にチェックが入れられるようになっており、学びの過程を意識して学習に取り組むことができる。 ・二次元コードからみられるデジタルコンテンツによって、これまでの学習の振り返りが個々に応じてできるようになっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図、写真、資料などがバランスよく取り入れられている。 ・スモールステップで写真と文を対応させ、器具の使い方などの内容を記載している。 ・児童が理科で学んだことを実生活に生かし、自分の世界を広げていくことができるような芽を育てている。例えば、扉ページや巻末の科学者の紹介、メッセージ、また単元末の暮らしや仕事の記載があることで、理科の有用感を高められるように工夫されている。

教科・種目	教科書名	発行者
理科	未来をひらく 小学理科	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に学習の進め方が説明とともに明示されている。また実験等で注意すべき点はその都度記載がある。 ・ 各学年において主に育成する問題解決の力には、「〇年のチカラ」というマークが付けてあり、発達段階に合わせて設定されている。(3年問題を見つける 4年予想する 5年見通しをもつ 6年考えを見直す) ・ 資料の中に発展的な内容を掲載しており、中学校のどの学年の学習内容と繋がっているかが分かるようにしている。 ・ 算数と関連する内容を「算数とのつながり」のマークで示している。また、巻頭には「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を設け、対話をする上での表現の仕方について取り上げ、国語科で学習した力を生かせるようにしている。 ・ 見方・考え方を働かせた児童の発言例には、「カギマーク」と「マーカ―」が付けられていて、注目できるよう工夫されている。 ・ 「思い出そう」で既習内容や生活体験との関連を図っている。 ・ 文節改行で読みやすい工夫がされている。 ・ 結論の後に「学びを広げよう」があり、学習したことを広げ深める場面を設定できる。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のはじめに「学習のつながり」や「思い出そう」を設け、既習内容との関連性を確認することができる。 ・ 目次で「エネルギー・粒子」と「生命・地球」の領域を色分けしている。 ・ 単元の内容に関係する発展的な資料が多く掲載されている。(3年33箇所 4年31箇所 5年46箇所 6年46箇所) ・ 「見つけよう」の場面で、登場人物の会話例を紹介するなど、話し合いを促す活動が設けられている。 ・ 単元末の「ふりかえろう」で家庭学習が可能である。二次元コードのデジタルコンテンツでノートの書き方が紹介されており、自主的な学習を支援することができる。 ・ 児童が自ら問題解決の方法を考え、解決することを導くように、デジタルコンテンツは観察や実験で注意すべきこと、結論、発展的な資料等に限定されている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験方法の説明はイラストでの紹介が多い。 ・ 6年「土地のつくり」に和歌山市と熊野川、5年「流れる水と土地」に熊野川の写真が採用されている。 ・ UDフォントが採用されている。 ・ 教科書の裏表紙に「理科の安全の手引き」が掲載されており、注意事項がすぐに確認できるようになっている。 ・ 単元末や巻末にSDGsに関連した資料が掲載されている。 ・ 教科担任制や専科制の課題である継続的な観察活動への配慮として、休み時間を使った観察方法が提案されている。

教科・種目	教科書名	発行者
理科	わくわく理科	啓林館

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程の中に、わかりやすい図・写真・キャラクターがあり、学習の過程を強く意識できるように記載されている。 ・問題解決の過程を踏まえた上で習得・活用の記載があり、その後、学習内容とくらしをリンクさせた内容を掲載することで、科学的な概念を定着しやすくしている。 ・「見つける・調べる・まとめる」の学習過程のサイクルが視覚的にもわかりやすい。 ・発達段階に応じて、3・4年生の単元導入では「理科への素朴概念や問題発見」を、5・6年生の単元導入では「科学的な概念形成や自己成長の実感」を大切にしている。 ・「理科の広場」、「くらしとリンク」などで中学校の内容が記載されている。 ・他教科との関連が非常に多く図られている。5年「メダカの誕生」での近大マグロや、「植物の発芽」でのシードバンクなど、社会科や総合的な学習の時間などと教科横断的に学習ができる。また、巻末に算数のまどがある。 ・巻末に「かく・伝える」があり、学習に活用できる言語活動の例を示している。 ・吹き出しの中で「見方・考え方」にマーカーをつけ、問題解決に必要な比較、関連付け、条件制御の考え方を手助けする工夫をしている。 ・単元導入で身近な事象が取り上げられている。また、和歌山県や近畿地方の地形や施設など身近な場の写真が多く、体験学習や地域学習に活用できる内容である。 ・SDGsに関わる問題に取り組む多様な人・物・事が掲載されており、共存社会の担い手についての学習として他教科にもつなげることができる。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・野外観察や飼育・栽培など、季節性を踏まえたうえで系統的に配列されている。 ・指導事項、分量共に適切に配分されている。 ・調べる方法の例が多くあったり、多様な活動形態を示したりしている。 ・学習のまとめノートが記載されているので、自主学習で復習などがしやすい。 ・二次元コードを利用したデジタル教材が随所に記載されている。 ・W a C B Tを活用して学習の振り返りができることが紹介されている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が鮮明であり、比較や関係付けがしやすいよう効果的に使われている。 ・近畿地方の写真が多く掲載されている。5年「雲と天気の変化」(和歌山市)、「メダカのたんじょう」(串本町)、「流れる水のはたらき」(紀の川、熊野川、日高川)、6年「大地の変化とつくり」(和歌山市、白浜町、広川町) ・UDフォント、デザイン、イラストに配慮がある。 ・デジタル教材に音声が入っている。登場するキャラクターが多様である。 ・SDGsの観点が随所に記載されているため、世界が抱えている課題を多角的にとらえて考えることができる。「ウィズ・アース」では、防災力を高めたり自然災害を科学的に捉えたりし、防災について主体的に考えられる構成になっている。

教科・種目	教科書名	発行者
生活	新編 新しい 生活	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、活動のめあてと具体的な課題を明示している。 紙面の下部に、児童が生活科の「見方・考え方」を生かしている姿を学習過程に沿って具体的に例示している。 吹き出し等を見ると、文字情報が多いがその分直接的に児童の思考を大幅に手助けするものとなっている。 図画工作科や音楽科との関連を図った表現活動や製作活動例が豊富に掲載されている。下巻からは国語科や算数科との関連を児童も意識しやすいように明示しているページが登場する。 I C T機器を活用した表現活動や意見交流の具体例が多く掲載されている。 吹き出しの中の文字数が他の教科書と比べると多く感じるが、漢字にはふりがながついていたり、カタカナの表記も、発達段階を考えている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムが13ページ設けられている。また、そのはじめは幼稚園や保育所での活動を思い出すものとなっており、系統性のある学習過程となっている。単元導入ページには、これまでの既存の知識や学習内容を喚起できる小写真が配置されており、つながりが意識できるものとなっている。3年生への接続ページが1ページある。各学習において、活動のめあてと主な評価規準のマークが大きく示されており、学習の流れが分かりやすくなっている。 各領域の指導事項に偏りはなく、各領域の分量も適切である。 個別最適な学び、友達同士の交流、学校外の多様な他者との交流など、様々な場面でのI C T機器の活用例を具体的に例示している。 児童の活動や今後の学びに役立つ知恵がのっている活動便利手帳がある。 上巻8ページ、下巻15ページ。 二次元コードの数は、上巻30個、下巻25個で、季節やいきもの、暮らしなどの図鑑や約束事、様々な動画など、充実している。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> 見開きのダイナミックな活動写真から学習がスタートしている。表情豊か。パノラマページなど知的好奇心を刺激する工夫もなされている。 ワークシート例は上巻28枚、下巻24枚である。タブレットを使ったワークシートも例示している。 本当の大きさのいきもの図鑑（春・夏・秋・冬）が用意されている。 UDフォント、カラーユニバーサルデザインを使用している。 インクルーシブ教育、全ての漢字にふりがなをつけていること、SDGsなど様々な視点で多様な人権に配慮し使いやすいものとなっている。

教科・種目	教科書名	発行者
生活	新版 たのしいせいかつ	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標が達成できるよう、キャラクターの吹き出しで学びのヒントを示している。 ・問題解決的な学習を促すために、キャラクターが困っていることを発言し、その解決方法も載っている。 ・最初は字が書けなくても表現できるように顔のマークに絵を描いて表現できる。 ・発展の内容は難しめ。 ・どの教科と関連しているかマークを付けている。 ・どんな場面でワークシートを使うのか、児童の書いたワークシートをその場面に載せている。また多様なまとめ方、発表の仕方の例示もある。他にも友達との伝え合い、クラスでの話し合いの場면을繰り返し取り上げている。 ・観察の仕方などを紹介（絵や動画）している。ワークシートの耳や目などのマークで表現できる。 ・夏のおもしろいことでシャボン玉を強く推している。 ・「家族」という言葉をかなり強く表現している（上P60、P114）。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムに配慮したページを設けている。（上巻冒頭11ページ）、2年生へ繋ぐページ数は上P120からの8ページ、3年生へ繋ぐページ数は下P110からの4ページ。下P8、9で過去の1年生の時の繋がり ・上の栽培活動が、2年生でも続けて栽培するように構成されている。（上P78、下P18） ・上は夏の学習内容が少なめ。秋の最初の学習と被るからだと考える。下はおもちゃ作りが他の単元より少なめ。 ・二次元コードがかなり多くあり、デジタル教材を活用しやすい。動画、写真など色々。上48個、下42個（植物や生き物の育て方、おもちゃの作り方、草花の遊び方、日本のお祭りの紹介、昆虫の様子、交通ルール、単元の導入など） ・付録「がくしゅうどうぐばこ」上15ページ、下12ページ
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート上20枚、下30枚。写真・絵だけでは分かりづらいところは二次元コードで動画もあり分かりやすい。 ・単元（季節）で色を統一している。ユニバーサルデザインフォントとカラーユニバーサルデザインを使用しているからか、全体的に教科書の配色は薄め。（背景が白、ピンク色はほとんど使われていない。） ・下巻の48ページに、栽培の発展としてSDGsの観点で生活科の活動を見直し、自分たちの暮らしにつながっていることを示している。 ・せいかつことばときらきらことばで、人との関わりが深まる言葉を紹介している。

教科・種目	教科書名	発行者
生活	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	学校図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を達成できるよう、学習のめあてが記されている。 ・問題解決的な学習を促すために、単元のストーリーが記されており、学習の必然性をもたせている。 ・単元のストーリーにはそれぞれ登場人物が配置されており、その中でも中心人物には吹き出しがあり、変容を見やすくなっている。 ・写真や児童の作品、イラストなどが多く配置されている。(見開きの2ページにわたる写真やイラストのページも複数ある。) ・文字量も学年に応じて適当で、見やすいフォントになっている。 ・上巻では、単元末は発展ページで終わるが、下巻になると、「ふりかえろう」というページがあり、様々なまとめ方や表現方法を紹介している。 ・学習内容が「探検領域・栽培領域・遊び領域・飼育領域・家族成長領域」5つに分類されている。また、内容別にマークが異なり、学習のねらいをはっきりさせながら継続的に学習を進められるようになっている。 ・上巻の中でも、最初ひらがなで書かれている言葉が後半にはカタカナで書かれているなど、発達に合わせた表記をしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじまるよ、2年生。」という単元が1ページしかない。 ・友達同士の交流を例示したイラストが数多く掲載されている。 ・単元末に掲載されている、「もっと〇〇したいな」で、家庭学習を促すものとなっている。 ・上巻では、一人一台端末のカメラやビデオ機能を中心に扱っている。下巻では、写真や動画を撮る時のマナーや情報検索時の注意が示されている。 ・上には、スタートカリキュラムの例示がされている。(P1～P11) ・「まなびかた ずかん」というページに言語活動例が具体的に記されている。 ・上巻P125～P136 下巻P113～P128 ・単元ごとに、「ものしりノート」「ものしりずかん」「もっと～したいな」というページがあり、発展ページが充実している。(上巻32ページ 下巻26ページ) ・二次元コード掲載数・・・上巻27 下巻13 ・二次元コード内容・・・上下巻とも写真も動画も充実している。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童ワークシート掲載数・・・上巻39 下巻52 ・UDフォント、カラーユニバーサルデザインを使用している。 ・「ものしりのうと」はほとんどの単元の間であり、身近な植物や、簡単にできる遊びを数多く紹介している。

教科・種目	教科書名	発行者
生活	せいかつ	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を達成できるよう、学習のめあてが記されている。また、めあてをつかめるように、単元名の前に「サイコロマーク」があり、その単元で育てていく、資質・能力が表されている。 ・問題解決的な学習を促すために、「はてな」「いぐら」というキャラクターが記されており、児童達一人一人に思いや願いを引き出すよう問いかけている。 ・外での活動や、自然物を使った活動が多い。また、安全に活動できるよう、右端に「やくそく」が示されている。さらに、見通しが持てるよう、下に単元の見出しがついている。 ・他教科との関連を図れるように、巻末(学びのポケット)に例示されている。 ・写真やイラストが大きく、学習活動が分かりやすい。また、右端に「ひんと」があり、どのように見たり考えたりすれば良いかがわかりやすい。 ・ひらがな・カタカナ・漢字の表記は、習う時期に合わせている。字の量は丁度よく、吹き出しは20文字程度で読みやすい。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻と下巻が系統だっている。「きれいにさいてねわたしのはな」→「めざせ野さい作り名人」「なかよくなるうね小さなともだち」→「めざせ生きものはかせ」(1年生で育てたアサガオや生き物について振り返る吹き出し) ・グループ活動や発表の写真やイラストがたくさん載っており、伝え方には、様々な方法があることがわかる。(クイズ、紙芝居、実物を見せる、写真や動画を見せる等) ・アサガオやミニトマト以外の種や花の写真や、「もっとそだてたいね」という発展ページがある。また、動植物のクイズがあるが、答えは載せずに自分で観察してみたいくなるようにし、自主学習を促している。 ・観察が難しいものや、安全面を考慮しなければいけないことは、二次元コードを読み取り、学べるようになっている。また、一人一台端末の活用方法と活用例が掲載されている。 ・スタートカリキュラム 7ページ ・3年生に向かうページ 4ページ 二次元コード 上32個 下22個 ・付録(学びのポケット) 上13ページ 下19ページ
図表・写真 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 上33個 下45個(アサガオやミニトマトの観察シートが、決まって右ページに1枚ずつ載っていてわかりやすい。また、「なにをかんじたかな」のページに、2枚もしくは4枚のワークシートの例が大きく載っていて見やすい。) ・野菜や花などの植物を育てる単元には、育てやすい種類が例示されている。 ・インクルーシブ教育(上P4、10、82 下P54)、LGBTへの配慮(服装や髪型、持ち物、「さん」づけで呼ぶ)、アレルギーへの配慮、SDGsへの意識を高める教材と、該当するマーク(下P50、51 P72、73) ・単元始まりに経験や意欲を喚起する「わくわくスイッチ」が配置されている。 ・2人の中心人物を通して、学ぶ姿が記されている。

教科・種目	教科書名	発行者
生活	せいかつ たんけんたい	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標が達成できるよう、各単元、導入ページ（意欲喚起）→展開（活動・吹き出し）→振り返りの流れがわかりやすく書かれている。 ・ページ左上に学習課題、見開きの2ページに活動の写真や学びを助ける吹き出し、右下に振り返りがあり、問題解決的な学習を意識している。 ・児童の発達段階を意識して、「こんなのもいいかもよ」「こんなこともあるかもよ」等、児童が共感できる書き下ろしイラストが随所に掲載されている。 ・他教科との関連を示すマーク等は、特にない。 ・見開きごとに振り返りを設定し「こんなことあったかな」生活科で求められる資質・能力を14観点に整理し、その単元での重点を示している。 ・展開のページには児童が見方・考え方につながる試行錯誤のポイントを「学び方のヒント」として示している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・下巻「まちのしせつ」が町探検とは別の一単元となっている。 ・探検ボードやタブレットを持つての探検、発表時のICT機器活用など、様々な活動形態を促している。 ・「もっとやってみよう」では学んだことを生かし自主的に取り組めることを紹介している。 ・別冊「ひろがるせいかつじてん」切り離し「〇〇のなかまたち」など、児童が持ち運んで使うことができる。 ・二次元コードは、「気をつけよう」のコーナーで、手洗いうがいの仕方、道具の使い方、交通安全、注意が必要な動植物等を紹介している。 ・スタートカリキュラム12ページ 「3年生も楽しみだね」3ページ
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きイラストで、絵を見て発見・期待を高める工夫がある。 ・導入や展開のページをはじめ、全体的に児童の写真が多く、また表情豊かである。 ・学習カード例 上25 下26 ・下「きせつのくらし」P12、13 P44、45 P56、57 P84、85 人や景色の移ろいが表現されており、見比べることができる。 ・UD書体 専門家の校閲を受けている。 ・「せいかつ」を学びの始まりととらえ、児童の視点に立ち、深め、広げ、高める「たんけん」を通して学びが達成されていくことを方針としている。 ・ヨシタケシンスケ氏が企画段階から参画し、イラストを多用している。 ・保護者の皆様へのコーナーが多く、内容のねらいを説明し、協力をあおいだり、声かけのヒントを紹介したりしている。

教科・種目	教科書名	発行者
生活	せいかつ	啓林館

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面右下の「めくり言葉」で次の活動に向けての思いや願いを表現し、活動の連続性や広がりをサポートしている。 ・各単元「わくわく（意欲喚起・思いや願いを持つ）」→「いきいき（体験・対話を通して感じる・考える）」→「ぐんぐん（伝え合い・振り返り）」の3段階構成で問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。 ・他教科との関連をマークで表示している。（上P31、46） ・言語活動の充実をはかり、多様なまとめ方が紹介されている。（絵本・新聞・巻物・パンフレット・ポスター・紙芝居等） ・「しらべる」「ためす」「見通す」など気付いたことをもとに考えるための、学習活動を例示し、児童が思考を働かせ気付きの質が高まるよう配慮している。（下P21） ・「できるかな できたかな」では知識技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう人間性、の3つの柱で整理し、単元での自己評価の視点を表す。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻と下巻が系統だっている 「わたしのはなをそだてよう」→「大きくそだてわたしのやさい」（上で行った活動を振り返る吹き出し） ・グループワークで児童が話し合いで学習を進めていく様子が多く例示されている。 ・ICT活用 活用場面を具体的に例示している。（記録する 整理 振り返り 発表） ・付録として巻末に学習ずかんのページがあり、学習の方法や、注意しなければならないことを児童が主体的に調べることができる。 上9ページ 下17ページ ・二次元コード 上120 チョウの羽化 虫の声 けん玉の技等 下74 生き物の飼い方 おもちゃの作り方等 個に応じ、デジタル教材を使った一人学習も可能となっている。 ・上スタートカリキュラム すたあとブック～がっこうだいすきいちねんせい～（13ページ） 下3年生へのステップブック（7ページ）で、幼稚園から小学校、また3年生へのつながりに配慮している。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・びっくりずかんLIVEでは、児童の身近にあり、かつインパクトのある写真が多用されている。 上14ページ 下8ページ 学習カード例 上15 下21 ・UDフォントは、専門家の校閲を受けている。 ・様々な家庭環境に配慮し、上「じぶんでチャレンジ」、下「これまでのわたしこれからのわたし」では、様々な人との関わりを通して、自分自身を振り返ることを大切にしている。 ・下巻の114ページに、はってんページとしてSDGsについての説明がある。 ・板書例のイラストが教師の参考になる。

教科・種目	教科書名	発行者
音楽	小学音楽 音楽のおくりもの	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の達成のため、題材名を左上に縦書きし、学習のめあてを表示している。 ・発達段階に配慮しながらも、楽譜をもとに学習を積み重ねられるようになっている。 ・問題解決学習や言語活動の充実が図れるよう「まなびナビ」で学習の道筋を示している。 ・中学校との系統性を図るため、「全体符」が出てくるページに注釈を掲載している。 ・他教科と、「ショートタイムラーニング」で、外国語や算数と関連させている。 ・見方・考え方を働かせることができるよう、「音楽を形づくっている要素」を聞き取りやすい教材を選択している。 ・体験との関連、身近なわらべうたや遊び歌を取り上げて体をつかって表現できる教材を用いている。 ・表記は「歌にあわせてお花になって遊ぼう」など、児童にわかりやすい。 ・本市が目指す豊かな心を育むために、国際的な視野に立ち、文化の多様性についての理解を深められるよう英語の歌が多数掲載されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を重視した配列がなされており、音楽の見方・考え方では1年生で最もわかりやすい「音色と強さ」から、6年生では「旋律のひびきあい」とつながっている。 ・指導事項のジャンルが広く、幅広い音楽を取り入れている。 ・多様な学習形態を提示し、ひとり・交代で・グループでなど「まなびナビ」で紹介している。 ・動画・ワークシート・資料の3種類のデジタル教材を二次元コードから使用できる。 ・自主学習がしやすいよう、上記教材が所々に掲載されている。 ・教科書の重量は、1冊平均187g。 ・各学年の巻末には「音楽ランド」という、地域や学校ごとのカリキュラムに対応できるように、選択可能な教材が多く掲載されていて、その分量は6年生では、実質88ページのうち18ページを占めている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が折込3ページで大きく掲載されているため、美しい自然や四季を感じられる。 ・児童が楽器を扱う写真やイラストを示し、活動の仕方を具体的に指示している。 ・ユニバーサルデザインに配慮した紙面やデジタル画面にし、読みやすいUDフォントを要所に使用している。 ・人権を尊重し、あらゆる差別やジェンダーに配慮している。 ・伝統文化を尊重し、歌唱共通教材では特に写真や挿絵を豊富に掲載している。 ・国際的な視野、人々の生活との関わりを意識し、多様な曲種の音楽を扱っている。 ・ICT機器に対応するため、タブレットパソコンで発展的な資料を見せたり、大型モニターで演奏と楽譜を同時に鑑賞したりできるようにしている。 ・環境教育、ESD等に配慮し、健康的な生活や生涯学習の機会の大切さも意識づけている。 ・地域や学校ごとのカリキュラムに対応できるように、主要部分と選択可能なオプションを組み合わせられるようになっている。

教科・種目	教科書名	発行者
音楽	小学生の音楽	教育芸術社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を各題材の左上に示し、題材の最後には学習のまとめを配置し、目標の達成を児童自身が振り返ることができるようになっている。 ・問題解決学習ができるよう、活動文を「見つける」「考える」「表現する」という流れにしている。 ・発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の教材である。 ・中学校との系統性を図るため、全休符、二部休符、付点8分休符、16分休符、へ長調と二短調の音階を巻末にまとめて掲載している。 ・社会科との関連では、日本の古典芸能が年表で整理されたり、著作権等社会と人とのつながりを取り上げたりしている。 ・言語活動の充実のため、キャラクターが吹き出しで話し合うポイントを示している。 ・見方・考え方を働かせるため、音楽のどの要素に着目すればよいかが示されている。 ・体験した身の回りの音を素材に、音を声に表し音楽を構成する要素へと導いている。 ・表記は、題材に続けて「～できるかな」と呼びかけていて学習の道筋が明確である。 ・本市が目指す確かな学力を育むために、自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学べるよう、巻頭の「学習マップ」に学習の進め方が示されたり、自分で試す手立てが準備されたりしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を重視した学びになるよう、「題材」は6年間を見通した設定になっている。 ・指導事項の系統性を重視し、スモールステップを大切にしている。 ・多様な学習形態を提示し、3人組やグループなど、ワークシートも活用しながら学習のめあてが達成できるように工夫されている。 ・教科書の重量は、1冊平均179g。 ・自主学習ができるよう、二次元コードが各ページの右上に配置され、児童が曲の旋律を聞くことができる。 ・デジタル教材として、音楽づくりの題材ではタブレット上で素材を操作し、自分のつくった音楽を再生できる。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真は内容に関連させながら配置し、イラストで発問の補助をしている。 ・身近な楽器を演奏する児童のイラストが各学年の表紙を飾り、親しみやすい。 ・UDの視点から、写真やイラスト上の文字を見やすくし色覚特性にも配慮している。 ・人権を尊重し、登場するキャラクターの肌・瞳・髪の色も多様である。 ・伝統文化を尊重し、わらべうたや箏などの伝統楽器を丁寧に扱っている。 ・国際理解教育や外国語学習の観点から单元の中に外国の遊び歌や英語の歌を組み込んでいる。 ・二次元コードから全ての歌唱・器楽教材の音源を聞ける。 ・プログラミング教育につながる、音楽づくりのデジタル教材が使用できる。 ・現代的課題となっている著作権について見開きで解説するとともに、二次元コードからJASRACの児童向け学習サイトとリンクさせている。

教科・種目	教科書名	発行者
図画工作	図画工作	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・図工科学習で育つ3つの力を親しみやすいキャラクターで示し、特に育成を図りたい資質・能力を下線引き、赤字で示しているため、児童が学習目標を捉えやすい。 ・題材名下に課題をリード文で示し、児童が思いをもち表現につなげられるよう工夫している。各題材の知識・技能が写真やイラストや児童の言葉で表され、児童が自分で学習を進められるようにしている。「学びの資料」(つくり方や用具の使い方)へのリンクが各題材ページに明示されているため、児童も教師も確認しやすい。 ・発達段階に応じて段階的に発想や構想を広げていけるよう題材を配置している。各題材のめあて、参考作品や活動写真も、発達段階に応じた内容である。 ・5・6下に「未来へつながる図画工作」が設定され、中学校へとつないでいる。粘土等材料の扱いでも、中学校の教育内容への系統性が考慮されている。 ・各題材の紙面下段右に「あわせて学ぼう」として教科等とのつながりを示している。教科名だけでなく具体的な活動を想起できる文章も書かれている。 ・コミュニケーションを意図した題材が多く設定され、話し合いの観点が示されている。各題材にふり返りシートがついていて書く活動も重視している。 ・めあてに対応したキャラクターが、学習のヒントを示し、児童が自ら思考・判断・表現することを促す。造形遊びでは知識・技能を明確にしためあてになっていない。 ・「つながるぞうけい」では生活の中での造形や人との関わりについて関連づけて取り上げている。 ・題材名はデザインが工夫され、表現・文字の大きさ・文字の量の表記・表現が適切。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を使う題材から段階的に発想や構想を広げていけるよう系統的な配列にしている。 ・各領域で偏りなく指導事項が構成され、時間配分も適切。 ・共同制作を促す題材を学年ごとに設定している。どの題材でも友達と関わり合いながら学習する様子が写真と吹き出しで示され、多様な活動の形態を促している。 ・「タブレットたんまつを使おう」では、「集める」「調べる」等の活用例を示し、ワークシートを友達と共有することができる。また、自主的な材料集めのヒントや、「アイデアシート」や「ふりかえりシート」は家庭学習につなげられる。
図表・写真 資料・体裁 その他 種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の作品や活動の様子は、目標や発達段階に合っていて、配置や分量も適切。 ・学校生活の中でおすすめを見つける題材など、身近なものが取り上げられている。 ・色使いやフォントはUDに関する配慮がされている。写真の図版番号は共有のために効果的。外国籍児童等にも分かりやすく使いやすい。 ・安全指導は写真やイラストを用い具体的に示し、安全な使い方ができるように配慮されている。 ・国際交流や福祉に関わる内容や日本各地の伝統と文化に触れるなど、多文化共生に配慮した構成である。また、児童が地域に目を向け活動できるよう工夫されている。

教科・種目	教科書名	発行者
図画工作	図画工作	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名とリード文とめあてをひとまとまりにして書き、児童にも指導者にも分かりやすく示している。 ・目次ページの隣に「教科書の使い方」「学習の進め方」を配し、巻末の「材料と用具のひきだし」で基礎的な知識・技能を示している。各題材ページにリンク先（発展的な内容もある）を載せ、児童が自分で学習を進められるようにしている。しかし、情報量が多いため、欲しい情報がすぐ得られないことも考えられる。 ・大切にしたい学びを上下共通で本のタイトルにし、2学年のまとまりを強く意識している。題材やめあて、活動途中の写真は発達段階に応じた内容である。 ・5・6年下には図画工作科で学んだことで「これからも大切にしたいこと」を書くページがあり、中学校へとつないでいる。粘土などの素材や様々な技法も系統性を考慮して配置されている。 ・各題材の紙面右下方に「つながる学び」として教科やSDGs、プログラミング等とのつながりが示されている。 ・どの題材にも友達と対話しながら活動する写真を掲載し、学習途中の対話を重視している。書いたり話し合ったりする時の視点も吹き出しで載せている。 ・「図工のみかた」では児童が見方・考え方を働かせ、工夫できる題材・学習展開になっている。また、互いの見方・考え方を尊重するよう促す表記や活動写真がある。 ・発達段階に応じた生活経験を意識した題材が多い。 ・目標の表現が児童にはやや難しく、低学年では活動の視点を示す言葉のフォントが小さい。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・扱うべき材料、用具は網羅されており、学年が上がると、扱う素材は同じでもテーマが高度になり、それまでの経験を踏まえた内容になっている。 ・各領域で偏りなく指導事項が構成され、時間配分も適切である。 ・題材のねらいに応じて個人活動、ペア活動、グループ活動など、多様な学習形態を選択できる。全体的に対話を重視し協働的な学びを促す構成になっている。 ・二次元コードから児童の作品や作り方、発展的な内容が見られる。また、学習のまとめに利用するよう示している。児童の作品は360°回転や拡大ができるが、情報量が多いため、指定した項目を見たり家庭学習で活用したりする必要がある。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の作品や活動の様子は、目標や発達段階に合っていて、配置や分量も適切。 ・同学年の児童作品や地域の施設など身近な資料が取り上げられている。 ・色使いやフォントはUDに関する配慮がされている。 ・道具の使い方や活動時の場は、安全面を考慮し、指導すべき内容として載せている。 ・保護者や他教科、伝統文化や地域の建造物、行事等にも目を向けられるよう、「ひろがりやつながり」を大切にしている。1・2年上では幼児教育からの接続を意識し、図工の学習を楽しめるよう工夫している。

教科・種目	教科書名	発行者
家庭	新編 新しい家庭	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・4人の主人公でストーリー展開されていて、児童への理解が深まる。 ・他教科や中学への系統性が示されている。 ・「家庭科の窓」で、家庭科の見方・考え方が示されている。 ・お茶の種類（P18）、だしの取り方や地域の汁物（P53）など、日本の伝統が5年生では11、6年生では7取り扱われている。 ・6年生「炒める調理」では、朝食の必要性に特化し朝食の役割を詳しく載せている。 ・6年生「一食分の調理」では、献立の立て方以外に、買い物の仕方（材料を揃えるところから自分でできるように）も掲載し、消費生活と繋がっている。 ・消費生活の情報が多く、持続可能な社会が意識されている。 ・「プロに聞く！」生活密着で、各分野のプロに聞いた知識がキャリア教育に繋がっている。 ・「旬の野菜と芋」（P25）の資料が分かりやすい。児童に旬を意識させやすい。 ・「実、みそを入れる順序」（P49）では、具体的に日常でよく使うものが取り上げられている。 ・「あなたは家庭や地域の宝もの」で、実際の6年生が地域と関わる実践（総合などの教科横断型の実践）が掲載されている。 ・安全・伝統・防災に関することは、マークで記されているので分かりやすい。 ・手縫いの作品例がカラフルで、児童の意欲を引き出すものになっている。 ・調理実習の「かたづける」では、水につけおくことまで扱われている。 ・「友達といっしょに学校生活を豊かにする物を製作しよう！」（P108）では、家庭だけでなく、学校生活の中で活かせるものを考えるきっかけとなっている。 ・学習の流れに沿って、振り返りのポイントが3ステップで、ページ下に掲載されている。 ・「盛り付けでおもてなし」（P27）では、食材の色を上手く使っておもてなしをすることが取り扱われている。 ・P143には、写真入りで布を裁つコーナーが掲載されている。ここでは、児童が普段聞き慣れない「布を裁つ」という言葉が扱われている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・「着方・住まい方」を同一題材にし、季節で分けている。教師による裁量が大きいのが魅力である。 ・写真が少し小さいが、箸の持ち方やだしの取り方、お茶の種類など、「日本の伝統」が充実している。 ・衛生・安全面が冒頭に詳しく説明されている。（実習前に、地震が起きたらなど確認できる） ・最後に、「裁縫の布を裁つ」や「じゃがいもの芽をとる」などの実物大の写真が掲載されているので、自分の手と重ねてシュミレーションできる。 ・「ものをいかして住みやすく」では、掃除と整理整頓を一つにまとめている。 ・「夏を涼しくさわやかに」「涼しい住まい方、着方、洗濯」の3つが入っている。 ・題材数が少ない分、一題材に扱うことが多い。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの内容が、一目で分かるようになっている（日本茶の種類、お茶とお湯の温度、日本茶の製造方法など）。 ・5年生で55、6年生で31の動画をみることができるようになっている。 ・トライシートは、タブレットから直接書き込みできるようになっている。 ・題材の最初は、必ずワークシートを使えるようになっている。

教科・種目	教科書名	発行者
家庭	わたしたちの家庭科	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4人の主人公でストーリー展開されていることで、児童の理解が深まる。多国籍な登場人物なので、多様性・共生社会も意識されている。 ・ 実習での各手順が横流れの紙面で見やすく理解しやすい。 ・ 調理のスタート（P17）にアレルギーについて詳しく掲載されている。 ・ 住まいの音と快適さ（P107）には、季節を感じる音や騒音が詳しく扱われている。 ・ P12では、一食分の調理計画が同時進行で作られるように掲載されている。 ・ ページ下には「豆知識」が掲載されていて、児童の知的好奇心がくすぐられる。 ・ 安全・伝統・防災などのマークが分かりやすい。 ・ 野菜の切り方の大きさが、実物大で掲載されていて、児童にも分かりやすい。 ・ 中学校の「技術・家庭」へ繋がりが、最後に掲載されていて、繋がりをもちやすい。 ・ 消費生活のイラストが分かりやすく、目に見えないサービスや娯楽、光熱費なども、支出であることが児童にとって分かりやすい。 ・ 買い物で困った事例が具体的に分かりやすい。 ・ 「肌着の役割」（P67）が明記されていて、児童に肌着の役割を意識させられる。 ・ 「涼しい着方、温かい着方」が一つの単元でまとまっているので、比較しやすい。 ・ 「わたしの仕事 振り返りカード」（P36）では、家族の人からの感想だけではなく、友達からの感想もあるので、他の家庭の工夫を知る機会になる。 ・ 「ゆでたまごの時間による変化」（P17）では、7分の写真があることで、卵黄の変化が分かりやすく、自分の好みのゆで時間を試す意識付けになる。 ・ ミシンでは、上糸と下糸の色が別になっているので分かりやすい。 ・ 防災のコーナーが充実している。 ・ 「稲・米・ごはん」になるまでの流れが写真で分かりやすい。 ・ 「調理実習」では、必要な道具が写真で分かりやすく提示されている。 ・ いためる調理の計画では、「いためる順番は？」「材料はなぜ分けておく？」などの疑問を投げかけ、考えるきっかけとなっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元構成が5年生で11単元、6年生で9単元の構成となっている。 ・ 団らんと家庭の仕事で単元を分け、その後、既習を生かし、「ほっとタイム」で題材をまとめている。 ・ 快適な着方は、夏、冬と服の手入れなど、季節順に細分化されていて、題材構成は興味深く、経験の少ない教員でも授業構成が組みやすい。 ・ 食生活（調理実習）は、オレンジ色、衣食住では、緑色にそれぞれ統一され、分野ごとで分かりやすい。 ・ エシカル消費など、買い物は、その商品に関わる人や会社を応援することなど、持続可能な社会への意識付けになっている。 ・ 5年生「手縫い」「ミシン」、6年生「ソーイング」と各単元でステップアップできる構成になっている。 ・ 題材は細かく分けているが、比較するほうが理解の深まる題材は、まとめているなど題材構成に工夫されている。 ・ 「日本や世界のほっとタイム」（P77）では、日本各地の特徴のあるおやつや、他の国でどのような過ごし方をしているのかを知ることができ、国際理解につながる。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各題材の写真が、とても分かりやすい。 ・ 各ページ右上に二次元コードが掲載されていて、マークで二次元コードの内容（資料・動画・活動コンテンツ）が分かるようになっている。 ・ 沸騰の様子の写真（P11）がよく分かる。 ・ 二次元コードが65個あり分かりやすい。 ・ 分野によって色分けがされており、ユニバーサルデザインに配慮している。

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新編 新しい保健	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 気づく・見つける→2 調べる・解決する→3 深める・伝える→まとめる・生かすという学習過程となっている。 ・ 学習目標を達成するために、課題をつかむところから、個人思考・グループや全体での話し合い活動、まとめ、振り返りまで、スモールステップで教科書に書き込めるようになっている。 ・ 学習の課題を明記しており、問題解決していくことができるようにワークシート形式の教科書で、空欄に書き込んで進めていくことができる。 ・ 深い学びを目指した「ステップ3 深める、伝える」が各単元に設定されている。 ・ 他者の意見を聞いて考えたことやわかったことを書く欄が各単元に設定されている。 ・ 他教科との関連として、理科・社会・家庭・総合的な学習の時間や学級活動との関連を明記している。 ・ 「スキルマーク」があり、児童に身につけてほしいスキル（技能）を取り上げている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 時間の授業で4 ページ～5 ページの取扱になっている。 ・ 資料が充実しており、資料の目次がある。 ・ イラストや写真からの導入があり、身近な問題として入りやすい。 ・ ロールプレイングできるイラストや動画がついている。 ・ 4 年の思春期に表れる変化では、資料で「性と自分らしさ」が記載されており、二次元コードから「どの性別の人を好きになるかは人それぞれ」という3分強の動画を見ることができる。 ・ 6 年の病気の予防「2 感染症の予防」では二次元コードから飛沫の飛び方の動画の視聴ができる。新型コロナウイルスについては、資料のところで新聞記事や病原体の写真などを載せ、わかりやすく説明している。 ・ 「マスクのつけ方」「手の洗い方」がイラスト付きで載っている。二次元コードから動画も見ることができる。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料でスポーツ選手の体験談や経験談が書かれている。 ・ 「熱中症の予防と手当」の資料では、ASUKAモデルについての記載がある。 ・ 「さまざまな依存症」で、ゲームやネット、ギャンブルについての記載もある。 ・ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされている。 ・ 身近な資料・写真、今日的な健康情報を扱っている。 ・ 「マタニティマーク」「ハートプラスマーク」「ヘルプマーク」などの支え合いのためのマークや、いじめ、心の健康、多様性・共生社会、新型コロナウイルス感染症、熱中症などが紹介されており、現代的な課題について配慮されている。特に表紙のイラストから、ジェンダーについて配慮されている。

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新版 たのしい保健	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・定着を目指し、単元の終わりに、知識及び技能を定着させるための問題を設定している。学年のまとめは「自己評価」と「実践化」の形でまとめている。 ・「つかもう」→「考えよう」「話し合おう」→「活かそう」の学習活動で、問題解決的な学習や言語活動の充実を図っている。 ・学習内容に関連した英語のことわざを紹介するなど、英語への興味を高めることができるようにしたり、他教科に関連した題材の該当箇所をマークで示したりしている。 ・1時間の学習で2～3か所書く活動がある。 ・他の学年との保健の内容のつながりや教科とのつながりをマークで示しているので関連が分かりやすい。 ・3、4年の教科書には5、6年の学習内容も記載されていた。その逆もあった。 ・「もっと知りたい」で、中学校2年「喫煙と健康」との関連を表している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかもう」→「考えよう」「話し合おう」→「活かそう」の3または4ステップで毎時間構成している。 ・「ここで学ぶこと」「活かそう」の見開きの2ページで1時間の授業が完結できている。 ・二次元コードを読み取ると、演習問題をしたり動画を見たりすることができる。またチャイルドラインにつながることができ、気軽に悩みを相談できる。またSDGsについて詳しく知ることができる。絵や文字で必要なことをまとめて表現している。 ・二次元コードを読み取って「たのしい保健ウェブ」にいくと、動画やまとめの問題にいくが、問題は穴埋めと回答になっている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は、単元の最後に「もっと知りたい」という形で提示している。 ・4年生の体の発育・発達では、身長伸びを目盛りに線を引くことで作業時間を短縮できるようになっている。「思春期における体の変化」でも、1年生の体と大人の体を写真で比較できるようになっている。 ・「思春期における体の中の変化」では卵子と精子の写真を掲載し、「初経や精通が起こったとき」のインタビューが2例掲載されている。 ・体育の体ほぐしや表現の内容が導入で紹介されていたり、「心の発達」の過程が4段階になっていることが紹介されたり、いろいろな不安や悩みについては5例紹介されるなど、豊富である。 ・3、4年生「体の発育・発達」では、導入で1歳ごろの赤ちゃんの手形と4年生になった自分の手の大きさを比べられるようになっているので、自分の成長をわかりやすく実感できる。 ・保健教育とSDGsのどの目標との関わりが深いかが記載されている。 ・現代的な諸課題に対応しており、SDGs、感染症の予防、防犯教育、キャリア教育、メンタルヘルスなどを紹介している。 ・本市の人権教育にもつながるジェンダーについて記載している。

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新 小学校保健	大修館書店

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の達成のために「課題をつかもう」→「話し合おう」「考えよう」「調べよう」→「生かそう・伝えよう」の3ステップとなっている。 ・問題解決的な学習展開とするために「課題をつかもう」の後に「今日の課題」としてピンク色の枠で囲っている。体験的に学ぶことができるよう、身近な生活から課題を発見する活動が設定されている。 ・単元ごとに「学習を振り返ってみよう」がある。「知識・技能」や「主体的な態度」「実践化」などに視点を置いている。ここで書く活動が設定されている。 ・時間の学習の最後に設けた「まとめ 生かそう・伝えよう」では、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正できる活動を適宜設定している。 ・導入でアスリートなどの有名人を取り上げて、展開されている。 ・記述は少なめで視覚的にわかりやすいが、大切な言葉の太字部分のインパクトがない。 ・単元のラストにデジタル教材としてクイズがあるが、3択で簡単である。 ・他教科との関連が示されている。 ・体育（運動）との関連が示されている。 ・時間の学習活動の中に「話し合おう」「考えよう」という協働学習の働きかけがされている。他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間を見開きの2ページで完結できるようにしている。構成や分量に問題はない。 ・学習の流れが示されており、児童が学習の見通しを持てるようにレイアウトしている。 ・「ながらスマホ」「ゲーム依存」「心のメンテナンス」「ユニバーサルデザイン」「エイズ」「SDGs」「金子みすゞの詩」など、発展的な学習の部分もある。 ・章の最後に「学習を振り返ってみよう」のページを設けて、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるようにしている。 ・二次元コードやウェブサイトが紹介されており、必要に応じて動画や画像、外部リンクなど、児童の興味や関心に応じて課題について考えたり、調べたりできるように配慮されている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに関する配慮がなされている。 ・身近な資料や写真、現代的な健康情報を扱っている。 ・「ながらスマホ」やインターネットから正しい情報を知る内容も取り扱われており、「スマホ・ゲーム依存」が現代社会で問題になっていることも取り上げられている。 ・SDGsの資料が掲載されている。 ・多様性（性・年齢・国籍・障害の有無など）の尊重がなされるように、男女の役割を固定したり、国籍や障害の有無などに基づく差別や偏見につながりたりしないように注意している。

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新わたしたちの保健	文教社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分にとって」をテーマに生活を振り返り、どうすれば改善できるのか、何が必要なのかを考えさせる構成となっている。 ・本時の Menu Misson1 Stage1、学習のまとめ Complete などの学習過程となっている。 ・課題について 考えたことや全体やグループで深めていく活動もあるが、個人思考が中心となっている構成の単元が多い。 ・単元のまとめとして「わたしの〇〇宣言」が必ずある。学習してきたことから「〇〇したい」など、自分の生活の中でより実践へとつながる振り返りをし、そのことについて友達から応援メッセージをもらえるようになっている。 ・ページ数に対して、書く活動の割合は少なく、「もう一歩先の自分へ」というところだけ記述で、あとは「・」を付ける形となっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業で4～6ページの取扱いになっている。 ・指導事項に特に偏りは無い。 ・画像中心であり、小単元の流れを記述している。 ・二次元コードを読み取ることで動画を視聴でき、より深い情報を見られるようデジタルコンテンツの充実が図られている。 ・発展的な学習の部分は「もっと知っとう課」で扱われている。 ・「ヒヤリハット」の二次元コードから厚生労働省のホームページにリンクできるようになっている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表や写真、資料は多い。 ・イラストの吹き出しに問題提起があり、学習が展開していく。 ・SDGs、自転車の安全点検、ドライブレコーダーの紹介、ユニバーサルデザインに関する配慮がある。 ・安全教育への関連として、5年「けがの防止」「3地域での安全」では、水の事故について取り上げている。また、着衣水泳についても取り上げている。地域の安全を守る活動で写真を入れて載せている。 ・現代的な課題として、6年生「生活の仕方と病気」では、主な生活習慣病として「メタボリックシンドローム」についての記載がある。子供の頃からも注意が必要との注意書きがあり、食べ物のイラストに食塩の量や脂肪の量などの記載がある。 ・新型コロナウイルス感染症に対する3つの基本が記載されている。 ・5、6年生の教科書では、中学校生活に向けて、アスリートからのメッセージが書かれている。

教科・種目	教科書名	発行者
保健	小学保健	光文書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の多くが、「課題を見つける」「考える」「話しあう」「学んだことを生かす」の4ステップで構成されている。 ・今の自分の生活を振り返ることが導入で扱われている。 ・1時間の学習活動に「話し合おう」「考えよう」という協働学習の働きかけがされている。他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしている。 ・学習の最後には、「生かそう」の活動があり、学習した知識を実社会や実生活で活用できる力を育てる活動が設定されている。 ・単元の導入が漫画で児童にとって入りやすい内容となっている。どんなことについてこれから学んでいくのかわかりやすい内容になっている。 ・学習の課題がわかりやすく、他の文章と差別化できている。 ・大切な言葉が太字で明瞭である。 ・単元のまとめでは、() に記号を入れる選択式を採用している。 ・他教科との関連が示されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの2ページまたは4ページで1時間が展開されるようになっている。 ・実際にやってみる活動や発展的な内容の紹介がある。 ・3、4年生の発展的な学習では「スポーツ障害」を5、6年生では「ながらスマホ」や「人との接し方、距離感、SNSの使用」について紹介されている。特に人との距離感は、現代的な課題であるコミュニケーションや人間関係構築力にもつながる。 ・NHK for school につながる動画もある。 ・学習の流れが示されており、児童が学習の見通しが持てるように資料がレイアウトされている。 ・児童の身近な事象が例として、漫画で取り上げられている。保健を学習する意義や大切さを伝えて、単元への関心・意欲を引き出そうとしている。 ・各単元に二次元コードやウェブサイトが紹介されており、動画や画像、外部リンクなど、児童の興味に応じて課題について考えたり調べたりできるように配慮されている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的で自発的な学びにつながるように「巻頭特集ページ」があり、保健の学習内容が身近に感じられる人気のスポーツ選手やクリエイターのメッセージが掲載されている。 ・SDGsの資料が掲載されている。 ・ユニバーサルデザインに配慮している。 ・本市の人権教育方針につながるエイズやAED、感染症に関する差別についての記載がある。

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新 みんなの保健	Gakken

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康や安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるようにしている。特色として、生活の仕方から健康課題を見出したり、よりよくする方法を考えたりしていく。 単元の導入は、イラストや写真など様々なパターンで始まっている。また、単元の流れを記述し、他教科との関連を一覧で紹介している。 学習過程の「話し合う」のところで言語活動の充実が図られている。 1時間の学習で、書く活動が4から5か所ある。 発達段階に応じた内容という点では、3、4年生の「体の発育・発達」で、「体の変化はいつ起こったのか」のインタビューが4例、「初経や精通が起こった時」のインタビューが2例、時期が4例など、個人差があることを紹介している。また、5、6年生「心の健康」では、「心の働きの変化」の過程が2段階で表されており、それに加え、カウンセラーへの相談が4例載っている。こういった内容をカウンセラーに相談できるんだということを具体的にすきつけになる。 1時間の中の、それぞれの活動で「書く活動」が入っている。 「かがくの目」は理科との関連を紹介している。 「5、6年生のほけんのはこ」は、中学校での学習内容も紹介している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の授業で、見開きの2ページを使うことが多い。1時間で必ず扱う内容が4ページにわたってある。 「振り返る」「意見を出し合う」「学びを生かす」の3ステップで学習の展開ができるようにレイアウトされており、それぞれ1ページずつ使われている。1時間の学習の進め方を見ることができる。 二次元コードで振り返りシートをダウンロードできる。 保健師さんのインタビューが動画で見られる。また、けがの手当では、119番への通報の仕方をデジタルコンテンツでシュミレーションできる。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の悩みや心配なことを、縦の棒グラフで表している。悩みの具体例や悩みへの対処法などは、別のページに2ページにわたって記載されている。 健康な肺と汚れた肺の写真を記載している。 体育や理科など他教科との関連が一目でわかるようにまとめて書かれている。 毎時間、学習を深めるための資料として「ほけんのはこ」があり、巻末にも別添として資料が掲載されている。 「5、6年生のほけんのはこ」では、中学校での学習内容も紹介している。子どもの疑問に即した書き方がされていたり、具体例があつたりしてわかりやすい。

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	NEW HORIZON Elementary English Course	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> Unit ごとに CAN-DO が示されている。 2年間の児童の発達を考えた構成になっている。 小学校生活の思い出や夢、中学校生活でしたいことを紹介する単元が組み込まれている。 国語、道徳、家庭科などに関連させた C L I L が取り入れられている。 会話を続ける表現例や発表に関する表現例などが単元ごとに示されており、会話や発表の質を上げる工夫が見られる。 アルファベット練習のお手本に、左利き児童への配慮がされている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> サイズは A 4 版、表紙の裏を含めて、5年生、6年生ともに 97 ページ 各単元 8 時間構成に加え、Check Your Steps が毎学期 2 時間配置されている。 複式学級にも対応した、系統立てた内容構成になっている。 5年生は、自分⇒地域⇒日本と、徐々に範囲を広げながら学習できる構成になっている。6年生は、世界に焦点を当てた学習内容になっている。 各活動が紙面の定位置に示されており、どの単元も同様の流れで活動に取り組めるため、インプット・やり取り→やり取り（言語活動の充実）→世界につなげている。 6年生は、紹介することを目標にした単元が 6 つ、発表することを目標にした単元が 5 つ（Unit が 2 つ、Check Your Steps が 3 つ）ある。 読み書きの活動が充実しているが、日本語で書く活動の割合が多い。 ペアやグループ活動がしやすい構成になっている。 別冊で My Picture Dictionary がついている。表紙裏を含めて 49 ページあり、自分で調べた単語を追記できる。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> イラストや図表、写真などがすっきりとしていて見やすく、書き込みやすい。 4 線の幅は、中段が幅広になっている。 車いすの児童や多国籍なキャラクター設定など、多様性に配慮した紙面構成。 単元の流れが分かる教科書の使い方が示されている。 外国からの目線でみた、日本の伝統文化などが含まれている。 地域の特産物などが取り上げられている。 SDGs に関連した単元を織り込み、2年間で 43 か国を取り上げている。 避難経路、標識を扱うなど、安全教育に関連した内容の取扱いがある。 環境のために自分ができることを調べて発表する内容の取扱いがある。 単語の発音（初め・終わりの音）に特化した慣れ親しむ練習が、書く活動とつなげて取り入れられている。

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	Junior Sunshine	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に各 Lesson の GOAL が示され、1 年間の学習の見通しがもてるようになっている。 ・各 Lesson の冒頭見開きに単元の GOAL を示し、活動目標も併記されている。 ・単元ゴールの言語活動が設定されており、それに向けて単元の第 1 時から毎時間言語活動を積み重ねていくように単元構成されている。 ・単元ごとに 5 領域 3 観点のどれを重点的に評価するか、1 年間でバランスよく計画されており、他教科等との関連についてと共に各単元冒頭の見開きに表記されている。 ・巻末には Lesson ごとの CAN-DO リストが掲載されている。 ・Let' s say it! ではあいづち表現などを記載し、「よい聞き手」になることも図った工夫がなされている。 ・第 1 巻では、地域や日本の魅力を改めて考えられるよう、単元末の Story Time にキャラクターが日本各地を巡り、名産や名所を楽しむ物語が掲載されている。第 2 巻では、日本のことに加え、世界の名所や食べ物から魅力を考えていくような内容が取り入れられている。 ・各単元 2 ～ 4 回、5 分程度の帯活動と単元末のコーナーで、英語の文字と音との関連を 1 年間かけて学習できるようにしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の裏を含めて 1 2 8 ページで、付録資料として CAN-DO チェックシートとアルファベットカードがついている。 ・すべての単元を 8 時間配当とし、単元ゴールの言語活動に向けた学習の流れが明確化されている。 ・ペーパーテストとパフォーマンス評価が年 3 回設定されており、総括的な評価も行えるようになっている。 ・別冊で Word Book がついている。5 年生で 3 3 5 語、6 年生で 4 2 2 語の合計 7 5 7 語が取り扱われている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書サイズは A 4 判で見やすくなっている。 ・文字が太く、なぞり書きしやすいが、読みづらいという面もある。 ・海外の生活の様子や風景、食べ物等の写真が豊富に掲載されている。 ・多様性に富んだ 9 人のキャラクターが登場している。 ・4 線の幅は、基本線と第 2 線の幅がやや広くとられている。 ・年 3 回、教科書の学習内容から発展させた異文化情報を掲載している。 ・各単元末に、SDG s や国際的な視点に関連した物語が載っている。

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	CROWN Jr.	三省堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson ごとにイメージキャラクターが単元の Goal を端的に示している。 ・ 別冊の My Dictionary の巻末にも、CAN-DO リストが掲載されている。 ・ 自分で目標を設定することで、主体的に問題解決に向かえる内容になっている。 ・ 発達段階に応じた資質能力の育成のため、主体的に目標が立てられる。 ・ 小学校生活の思い出や夢、中学校生活でしたいことを発表する単元が組み込まれている。 ・ 内容がややレベルの高いものになっているが、中学校での学習につなげやすい学習構成になっている。My Dictionary やミニ情報なども中学校につながる。 ・ 社会、国語、理科など、他教科と関連させた C L I L の考え方に基づく学習内容がある。 ・ 言語活動において、職業及び勤労や社会貢献、伝統文化など様々な題材を取り扱っている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイズは A 4 版で、表紙の裏を含めて、5年生、6年生ともに 113 ページ。 ・ 配当時間は単元によって異なり、最長で 7 時間、最短で 1 時間である。 ・ 複式学級にも対応しており、言語活動がスパイラルに配置されている。 ・ 段階を踏んだ、スモールステップの学習内容になっており、児童が見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ・ 物語を多く取り入れて、児童の興味を引く題材を扱っている。 ・ やや「話す(発表)」に重点が置かれており、特別に学期に 1 回 JUMP という単元が取り入れられている。 ・ ペアやグループ活動がしやすい構成になっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストや図表、写真などがすっきりとしていて見やすく、書く時間に学習する内容が見開きで分かるようになっている。 ・ 別冊で、My Dictionary がついている。 ・ 4 線の幅は、中段がやや幅広。 ・ 車いすの人や多国籍なキャラクター設定など、多様性に配慮した紙面構成である。 ・ 単元の流れが分かる教科書の使い方が示されている。 ・ 各ページ欄外に英語のミニ知識が掲載されている。 ・ 日本の文化及び他国の文化が取り扱われている。 ・ 地域の名所や名物などが取り上げられている。 ・ 世界の物語や歌などに触れている。 ・ 活動の見本として、タブレットを用いて級友に紹介している写真が掲載されている。 ・ 安全や防災関連の内容、SDGs に関連した内容の取扱いは少ない。

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	ONE WORLD Smiles	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson ごとにイメージキャラクターが単元の Goal を端的に示している。 ・ 3、4年生の外国語活動とのつながりがあり、振り返りながら5年生、6年生の外国語科の学習に取り組みやすい構成になっている。 ・ 小学校生活の思い出や夢、中学校生活でしたいことを発表する単元が組み込まれている。 ・ 社会、道徳、人権など他教科との関連がよく考えられている。 ・ 「話す（やり取り、発表）」や「聞く」活動は各単元に入っていて充実している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5ワイド版で、表紙の裏を含めて、5年118ページ、6年110ページ。 ・ 各単元7時間構成。 ・ 慣れ親しむ⇒聞く⇒やり取り⇒読む・書く⇒発表⇒振り返りなど、順序だてた配列で、学習のめあても初めに明示されているので、見通しを持って取り組みやすい。 ・ My Word Bank がどちらの巻末にも6ページあるため、単語を調べやすい。 ・ 地域⇒日本⇒世界と徐々に範囲を広げながら学習できる構成になっている。 ・ 5年生は、紹介し合うことを各単元の目標にしているものが多い。6年生は、1単元を除く7つの単元で、発表することを単元の目標にしている。 ・ 英語を書く分量は、児童の負担にならないよう配慮されている。 ・ 個人、ペアやグループ活動の分量に偏りが無い構成になっている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストや図表、写真などが多くて視覚的に分かりやすく見やすい。 ・ 絵カードやシールなど、資料が豊富。 ・ 裏表紙の名前記入欄が4線。 ・ 4線の幅が、4：5：4になっており、中学校のノートに近い。 ・ 車いすの児童や多国籍なキャラクター設定および手話を取り扱うなど、多様性に配慮されている。 ・ 名所マップなどが充実しており、他教科と関連しながら学習しやすい。 ・ 1年間の学習内容が一目でわかる目次や Classroom English などが表紙裏から数ページ設けられている。 ・ 地域学習と関連させて伝統文化を取り上げている。 ・ 地域の特産物などが取り上げられている。 ・ SDGsに関連した単元や国際色豊かなキャラクターや取扱内容がある。 ・ 発表している様子を動画で撮影することを目標にしている単元がある。 ・ 安全教育（防災）に関連した内容の取扱いがある。

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	Here We Go !	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に Unit ごとの GOAL（学習の目標）が明示されていて、さらに各 Unit のはじめにも示されている。 ・目次では Unit 名の隣に重点化する領域が書かれ、学習の目標を明確にしている。 ・全ての Unit のはじめのページには、学習全体の流れと単元の Goal と Step ごとの目標が示されている。 ・既習表現を意図的に使った Small Talk、既習表現を使うことができる Plus One Phrase Hunt を取り入れ、児童のコミュニケーション力の向上が図れる。 ・第1巻では自分のことや身近な人のこと、地域のことを伝え合うことに焦点を当て、第2巻では日本のことから始まり、世界のこと、将来のことに順に目を向けられるような内容構成になっている。 ・アルファベットの読み方と書き方を丁寧かつ楽しく学べるようになっており、文字指導は充実しているが、書く活動が精選されている。 ・Smile, Eye Contact, Clear Voice に加えて、Response にも意識を向けられるように、言語活動の近くにフレーズが掲載されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の裏を含めて 1 1 2 ページで構成され、加えて絵カード、Picture Dictionary が付録で付いている。 ・Picture Dictionary では全ての語彙が 4 線上に表示されており、7 1 2 語に触れられるようになっている。 ・巻頭 5 領域ごとの CAN-DO リスト、巻末に学習の成果が一覧できる All About Me というシートが付いており、自身の学習を振り返ることができるようになっている。 ・各 Unit が 7 時間に統一され、8 つの Unit と 3 つのまとめで構成されている。 ・I C T 機器を授業に生かした小学校の例が多く紹介され、I C T を授業で積極的に活用できるようにしている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書サイズは B 5 ワイドで製本されている。 ・海外の写真が多く掲載されており、世界 1 2 か国で実際に生活する小学生の映像は新たに作り直されている。 ・4 線の幅は、基本線と第 2 線の幅が広くとられている。 ・日本人や外国人、ロボット等の 9 人のキャラクターがいる他、車いすの人や盲導犬を連れた人も登場し、多様性を認め合うだれもが住みやすい町づくりについて考える学習活動になっている。 ・「英語の物語」「言葉について考えよう」「災害と英語」を取り入れ、他教科や現代社会との結びつきを意識させることができる。 ・SDG s に関連する話題がストーリーアニメで取り上げられている。

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	Blue Sky elementary	啓林館

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 各 Unit の最初の GOAL に、その Unit 全体のめあてを 3 Step に分けて示し、学習者が確認できるようにしている。 各 Unit の最後の Look Back で、その Unit で学習したことを振り返り、できるようになったことを確認できるようにしている。 Activity では簡単なやり取りや発表の活動で学んだことを活用できるようになっている。特に Step3 の Activity では、各 Step での学びや思考を生かし、その Unit の GOAL となる言語活動が行えるようになっている。 アルファベットの音読みを繰り返し学習できるようにしている。 英文を書く時のルールを学べるように、教科書に真似をして書けるようにしている。 コミュニケーションを図るうえで大切なこと（ジェスチャーの活用、あいづちなど）が初めに示され、それらのフレーズを見ながら活動が行えるように、巻末に付録シートがついている。 第 1 巻では世界のことを、第 2 巻では日本のこと、自分の町のこと、自分自身のことという風に、段々と自分に迫っていくような内容の扱いとなっている。
構成 配列 分量	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 巻、2 巻とも表紙の裏を含めて 1 3 3 ページで構成されており、ページ数は多いが、軽量で丈夫な用紙が使われている。Word List、Can-Do List、絵カード等が付録資料として掲載されている。 各 Unit の配當時数はいずれも 7 時間としている。（Pre Unit のみ 2 時間配当）
補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 各学期の最後に REVIEW を設定し、コミュニケーション活動を通して技能統合的な学習ができるようにしている。
図表・写真・ 資料・体裁	<ul style="list-style-type: none"> 教科書サイズは A 4 判で、書き込むスペースを広く設けている。 他の教科書に比べ文字が小さい。 写真、絵図、表、地図、児童の作品例を多く取り入れ、視覚的に理解を深めたり興味を持たせたりするように工夫されている。
その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> 児童に親しみのある漫画・アニメや有名人のイラストや写真が多く使用されている。 4 線の幅は、基本線と第 2 線の幅をやや広くとっており、普通の 4 線のものに近い。 日本人だけでなく、外国人も含んだ 7 人の登場人物がいる。 SDGs に関連する外国の文化や取り組みを紹介するページが設けられており、それに関連した Web ページにアクセスすることもできる。

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新編 新しい道徳	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 目次については6教材の上記に、現代的な課題に取り組む「5つのユニット(安全・安心、「いじめ」について、情報モラル、「いのち」について、「じぶん」について)」が明記されている。また、4つの視点で分けた一覧表が見開きの2ページで載っている。 オリエンテーションの特徴として、1時間の学習の流れと共に、「ちょっと話し合ってみよう！」と題した、短いお話と考える視点、発言の文例が載っている。 各教材の最後に「つながる・広がる」欄がもうけられている。11教材には、コラムなどの挟み込みページの特徴があり、教材の内容をより深め広げる補足説明や友達と交流が図れるワークシートもついている。 教材名の近くに、4つの視点を示したマーク、主題名、二次元コードが載っている。 各教材の最後には、中心発問にあたる登場人物の心情についての発問例、と価値の一般化にあたる自分ごととして考えたり、価値に迫ったりする発問例が載っている。 生活関連教材が35教材のうち15教材ある。物語6教材、人物(偉人)7教材。 内容項目でみると、「生命の尊さ」が3項目あり、一番多い。 巻末に「考えるためのツール」が3例載っている。「心のメーター」はインターネットを活用したものと「付録」がついており、すぐに活用できる。 教材に沿った役割演技の方法がイラスト付きで紹介されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> A B版。5年生では総ページ数186ページ。教材数35。5つの各ユニットを続けて学習できる配列になっている。 巻頭に詩、巻末に「学習の記録(6教材分)」と全体をふり返る欄が3項目ある。 別冊のノートはなく、二次元コードで中心発問が記載されているワークシートを利用できるようになっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> 状況や主人公の気持ちが分かりやすく、中心発問と合致した挿絵になっている。 いじめ問題や情報モラルについてはユニットが生まれ、「いじめ」2教材、情報モラル1教材ある。コラムもより詳しく載っている。防災教育に関しては、2年生、5年生ともに1教材ずつ載っている。 本県の教材は載っていない。 二次元コードが各教材名の下に載っており、3つのコンテンツ(朗読・紙芝居・デジタルノート)が利用可能。また、8教材の最後では、教材に関連した動画や資料が見られるようになっている。

(各数値は5年生教科書より抽出)

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	小学道徳 はばたこう明日へ	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 目次については、教材名の下に、「特に大切にできるテーマ（ユニット化）」「問題や課題を解決する力を養う教材」「体験しながら考える教材」がすぐにわかるようなマークがあり、4つの視点で分けた一覧表が見開きの2ページである。 オリエンテーションの特徴として、1時間の授業の流れがイメージできる「どうとくではこんな学び方をするよ」を設けている。さらに3年生以降に、「道徳の学習をもっと広げよう」として、まなびリンクの活用方法やタブレットを学習に活かす方法がある。 教材のあとのコラム（8本）は、写真や図、グラフが多く使われ、そのうち2本が人物に関連している。また、巻末にSDGsについての資料が4ページある。 教材名の近くに、視点や主題、オリジナルキャラクターによる導入での問いかけや二次元コードがある。 生活関連14教材、人物（偉人）7教材。 一番多い内容項目は、C公正、公平、社会正義の3教材である。 教材によって最後に、「問題を解決しよう」という問題解決的な学習や、「モラルスキルトレーニング」「やってみよう（役割演技）」という体験的な学習の手引きがある。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> AB版 5年生では、全176ページ+学習をふり返ろう6教材分として全3ページ、1年間の学習をふり返ろう1ページがついている。 本教材30本（全ての内容項目あり）+補助教材5本。 「いじめ問題」「情報モラル」「人権」「自然環境」についてユニット化している。 各教材の最後に3項目の「自己評価欄（◎○△×など）」がある。 巻末付録として、「学習のふり返り」シートがあり、これは、記述式で切り取り線があるため、提出できる形式になっている。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の特性による観点	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵は、絵本風や漫画風など様々で、また挿絵+写真のものもある。 本県の教材は、5年の教材で「稲むらの火」がある。 教材の頭や末に二次元コードでアクセスできるデジタルコンテンツがあり、あらすじ・登場人物紹介・参考図書・外部リンクが掲載されている。 「いじめ問題」の教材ではSNSが取り上げられ、コラム付きで相談窓口の電話番号が紹介されている。 「防災教育」については、2年で福島県での地震（H23）、3、4年で東日本大震災が扱われている。

（各数値は5年生教科書より抽出）

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	道徳 きみが いちばん ひかるとき	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 目次ページでは、視点ごとに色が分かれている。また、学期ごとにテーマが設定され、内容が構成されている。二次元コードもついており、22の内容項目全てがアニメーションで紹介され、興味を持たせる工夫がされている。 1学期のはじめには「気持ちよく話し合うコツ」と練習、2学期のはじめには「考える準備体操」として対話のテーマを多数掲載し、対話の楽しみを味わい練習する機会を作っている。 ユニットの最後に必ずコラムがあり、ユニットにおける課題を自分事として受け止め、自己の生き方について考えを深められるような内容となっている。 教材名の近くには、視点、内容項目、導入での問いかけ、教材によっては二次元コードがある。 教材文の最後には、めあて、発問例2～3つ（うち一つは◎で中心発問）、生活をふり返る言葉がけがある。 生活関連教材は12教材、また、人物（偉人）を扱った教材は8教材となっている。 内容項目でみると「生命の尊さ」が3教材あり一番多い。 教材によっては、多様な学習活動を提示している。（役割演技、カードを使った交流、思考ツールの活用など）
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 教科書はB5変型版。5年生は192ページ。35教材+コラムなど補助教材11+付録。 教材2つとコラムを組み合わせた「ユニット」を構成し、「いじめ問題」「共生」「情報モラル」「環境」の4テーマをとりあげている。 巻頭には、詩を掲載。巻末には、すべての教材の一言感想と観点に沿ってふり返り自己評価するページがある。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめを許さない心」「情報と向き合う」というユニットがあり、ユニット内の教材では発問や考えるヒント等他教材より詳しく示されており、コラムではより具体的に自分たちの生活と結びつけられるよう工夫がされている。また、二次元コードで、「インターネットをじょうずに使うために」という動画も見ることができる。 付録で日本各地の防災活動の紹介、教材として阪神淡路大震災が1つ、東日本大震災を扱った教材が2つあり、二次元コードで、「災害から命を守るために」という動画や当事の様子を写真で見ることができる。 本県の教材は、6年「エルトゥール号—友好の始まり」の1教材。 25箇所ある二次元コードのうち、15箇所は朗読音声であるが、学習活動の進め方のスライドショーや教材に関する写真資料、啓発動画、インタビュー動画などもある。

(各数値は5年生教科書より抽出)

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	小学道徳 生きる力（別冊「道徳ノート」）	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 目次では1年間の学習を見通す流れが見えるようになっていたり、本書で使われているマークの解説が載っていたりする。「いじめの防止」については「人との関わり」というユニットで集中的に学習できるように計画されている。 オリエンテーションの特徴として、自分を中心に4つの観点を発達段階に応じたイメージ図で示し、道徳の学び方について写真を用いて示している。二次元コードを読み取ると具体的に考えを深める方法が見られる。 コラムなどの挟み込みのページの特徴として、いじめに関する「人との関わり」のユニットの一部として視点を広げられるように他教科とも関連して学習できる「心のベンチ」というコラムが設けられている。 教材の近くには、視点を表すマークと色、内容項目・導入での問いかけ・話の要約・読み物資料では登場人物のイラストがある。 教材の最後に中心発問例とふり返る発問がある。 全35教材中22教材が生活関連教材。人物（偉人）が5教材。 教材が多くある内容項目は集団や社会との関わりに関するもので、いじめや情報モラルなど現代的課題に焦点をあてている。 問題解決的な学習を取り入れるために、ユニットにある「ぐっと深める」では役割演技や話し合いの例などを示している。二次元コードを読み取ると「道具箱」と表示されたところに心情メーターや思考ツールがあり、入力や操作ができる。
構成・配列 分量・補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> A B版。5年生では184ページ、教材数35、補助教材3。 巻頭に目次、巻末に身の回りにある道徳的なものを見つけるコーナーがある。 別冊で道徳ノートがついており、毎時授業の内容を深めたりふり返りとして活用したりできる。各学期に心に残った話をふり返り、家庭との連携が図れる。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の補助となる挿絵・写真・地図・資料など児童の理解を助けるものとして配置されている。 いじめ問題や情報モラルについては共に重要課題として捉え、いじめ問題はユニットで配置し6教材取り扱っている。情報モラルは3教材。いじめ問題の教材と情報モラルを取り扱った教材が2教材ある。 防災教育については阪神淡路大震災について取り扱ったものが1教材。 本県の教材は3教材。（3年やさしさのバトン 4年お父さんのじまん-いなむらの火- 6年エルトゥール号-日本とトルコのつながり-） 全教材に二次元コードがあり、偉人・伝統と文化・国際理解などの教材には1分～3分程度の動画やスライドショー、関係先のリンクにつながるようになっている。生活関連教材では本文の朗読音声・ワークシート・思考ツールが入った道具箱などの活用ができるようになっている。

（各数値は5年生教科書より抽出）

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	小学道徳 ゆたかな心	光文書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 目次では、デジタルコンテンツがある教材に再生マークがついている。 巻頭のオリエンテーションでは各内容項目の紹介とともに「自分→他者→社会→生命・自然」へと広がる4つの視点の関連性と発展性を紹介している。1時間の授業の流れや学び方を明示している。道徳と日常生活とのつながりを図式化し、日常生活で生まれた問いを授業で生かし、再び生活に返すサイクルが示されている。 全学年で、①対話の仕方②情報モラル③立ち直る力④SDGs 4つのコラムを設定。 教材名の横には視点と導入への問いかけが書かれている。内容項目別にマークとカラーを設定している。 教材の最後には、中心発問に加えて視点の異なる発問を掲載し、多面的・多角的に考えるヒントとして活用することができる。 どの学年も生活体験及び体験学習と結び付けた教材が多く取り入れられている。高学年になるにつれ、人物（偉人）や世界情勢などの内容が多くなっている。 内容項目で見ると、低学年では「節度、節制」「親切、思いやり」、高学年では「伝統や文化」の教材がやや多い。 すべての学年で発達段階に応じた「対話の仕方」と「思考ツール」が提示されている。どの教材でどの思考ツールを使うかも明示されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> A B版。5年生では188ページ、教材数40（35教材+5教材）。 全学年3ユニット。「いじめを生まない心」と「命をかがやかせる」については全学年で共通している。あと1ユニットは低学年では「へこんでも立ち直る」、中学年では「みんなで力を合わせて」、高学年では「世界の人とつながる」という内容を取り入れ、発達段階に合わせて個人の成長の広がりを意識した構成になっている。 巻末に自己評価シート「学びの足あと」が付いている。低学年では自分の気持ちに合う顔マーク、中学年以降では心の矢印マークで表し、すべての教材に一言感想を書く形式になっている。
図表・写真・ 資料・体裁 その他 教科・種目の 特性による観 点	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や図表は、児童の理解を助ける配置になっている。相関図や地図など補足説明も詳しくされている。 授業の導入や展開に活用できる写真や動画、音楽、ウェブサイトなどのデジタルコンテンツが二次元コードで読み取り可能。全体的に動画が豊富。高学年ではニュース映像や本人へのインタビュー動画が多い。 多くの教材が現代的課題と関連づけられており、内容項目一覧表で「いじめ」「情報モラル教育」「環境」「人権」「食育」などと明記されている。 全学年で防災教育に関する教材が設定されている。 本県の教材については、5年生で地域のシンボルマークである市（町・村）章を取り上げ、和歌山県那智勝浦町のシンボルマークが紹介されている。6年生では、広川町広村堤防の清掃ボランティアの話で、稲むらの火の濱口梧陵が紹介されている。

（各数値は5年生教科書より抽出）

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新版 みんなの道徳	Gakken

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 目次では内容項目の4つの視点を色分けし、ユニット教材を「みらいへ・みんなで・いのち」と連続して取り扱っている。また、現代的課題について11個取り上げそれを示すマークをつけ、SDGsにつなげて考えられるようにしている。 オリエンテーションの特徴は、「よりよく生きるために」で挿絵を用いて4つの視点を説明している。また、「考えを深めるステップ」として学び方を例示している。 コラムなど挟み込みページの特徴では、心のパスポートで、自分の考えを書きこめるようにしている。また、挿絵を見てそれぞれの立場で考えさせたり、4コマを見て考えさせたりするなど、身近な生活に関連しているものを載せている。 教材名の近くにはマーク（4つの視点・現代的課題）、読みたくなるキーフレーズがあり、いくつかの教材に二次元コードがある。 発問例は教材の最後に二つ（教材の中の中心発問・自分を見つめなおすもの）掲載している。 生活関連教材が11教材、人物（偉人）は7教材ある。 教材が多くある内容項目は善悪の判断、自立、自由と責任が3教材、生命の尊さが3教材ある。 指導方法の工夫では、役割演技など、体験的な学習の手引きがある。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> A B版。5年生では、160ページ、教材数35。 ユニットは、「いのち・みんなで（多様性）・みらいへ（キャリア）」の各ユニットが学期に1回設定されており、連続して取り扱っている。また、中表紙で投げかけ、教材の取り組みがあり、特設ページで考えを深めるようにしている。 巻頭「つながるわたし、ひろがるわたし」では今の自分について考え書き込んだうえで、自分をとりまく人々、社会、環境と自身がつながっていることに気づき、現代的な課題に取り組む意欲を育てるページを設けている。巻末には巻頭と連動して、心に残ったことや伝えたいことを書くページを設定している。
図表・写真・資料・体裁 その他 教科・種目の特性による観点	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・写真については、写真が多く、挿絵と発問はリンクしている。 いじめ問題や情報モラルについてはいじめ防止に関する教材を8つ掲載。情報モラルについては2教材掲載している。 防災教育については東日本大震災・新潟中越地震など地震に関連する教材を4教材掲載している。 本県の教材は含まれていない。 二次元コードについては全部で9つ掲載している。内訳は、動画3、ワークシート2、図鑑、漫画、クイズ、他国観光ホームページ。

(各数値は5年生教科書より抽出)